平成２４年度市民意識調査

報　告　書

平成２５年３月

多　治　見　市

目　次

調査概要

１　調査目的.....－１－
２　調査方法等.....－１－
３　回収結果.....－１－
４　報告書の見方.....－１－

第１章　回答者のプロフィール

１－１　性別.....－２－
１－２　年齢.....－２－
１－３　小学校区.....－３－
１－４　職業.....－３－

第２章　住みやすさと居住意向

２－１　住みやすさ.....－４－
２－２　今後の居住意向.....－８－

第３章　市政全般について

３－１　市政への満足度.....－11－
３－２　市の重点施策.....－28－

第４章　生活実態及び市民意識

４－１　生活実態及び市民意識.....－32－

第５章　情報提供について

５－１　広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいるか.....－36－
５－２　広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容.....－38－
５－３　市のホームページ.....－41－
５－４　ＦＭたじみ（エフエムピピ）.....－43－
５－５　市の広報手段.....－45－

参　考　資　料

依頼文書及び調査票.....－47－

調査概要

１　調査目的

本調査は、市民の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握することにより、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得ることを目的とする。

２　調査方法等

・調査地域　　多治見市全域
・調査対象　　市内在住の 16 歳以上の男女 2,000 人
・調査方法　　郵送配布・回収
・抽出方法　　無作為抽出法（郵送配布分）
・調査時期　　平成 25 年 3 月

３　回収結果

	回収票数	回収率	有効回収票数	無効票
郵送配布・回収	1,036	51.8%	1,033	3

※有効回収票数とは、回収票数のうち、無効票である白票や記入不備等を除いたもの。

４　報告書の見方

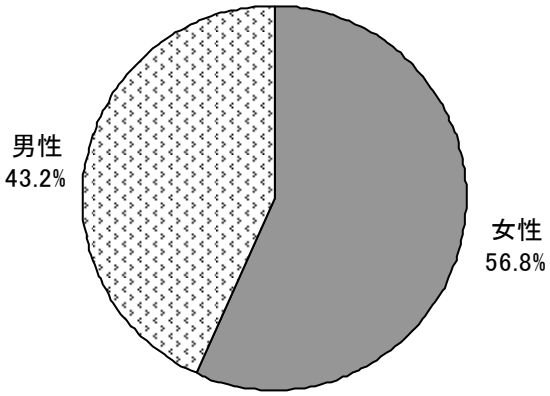
・グラフにおける比率は全て％（パーセント）で表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出している。したがって、各項目の構成比の合計は必ずしも 100％にならない。
・複数回答が可能な設問では、構成比算出の母数は回答者数（票数）とし、その項目を選び○を付けた人が全体から見て何％なのかという見方をした。そのため、各項目の比率を合計すると 100％以上になる。
・グラフにおける選択肢や凡例の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載されている場合がある。

第１章　回答者のプロフィール

１－１　性別

回答者の性別は、女性が 56.8%、男性が 43.2%となっている。

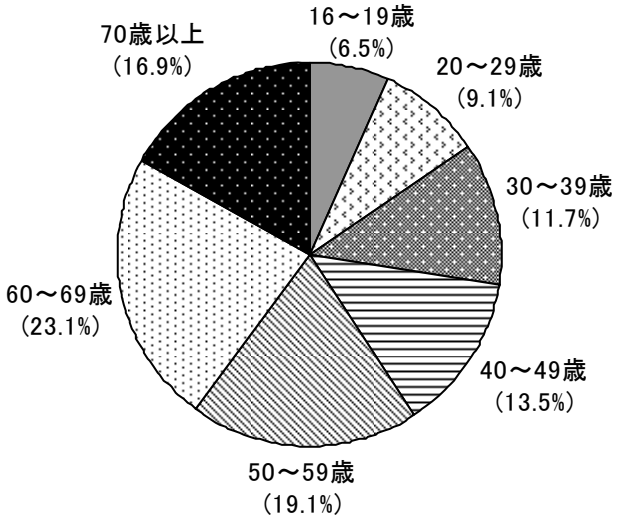
図１－１－１「性別」



１－２　年齢

回答者の年齢は、「60～69 歳」(23.1%) が最も多く、以下「50～59 歳」(19.1%)、「70 歳以上」(16.9%)、「40～49 歳」(13.5%)、「30～39 歳」(11.7%)、「20～29 歳」(9.1%)、「16～19 歳」(6.5%) となっており、若年層の割合が少ない。

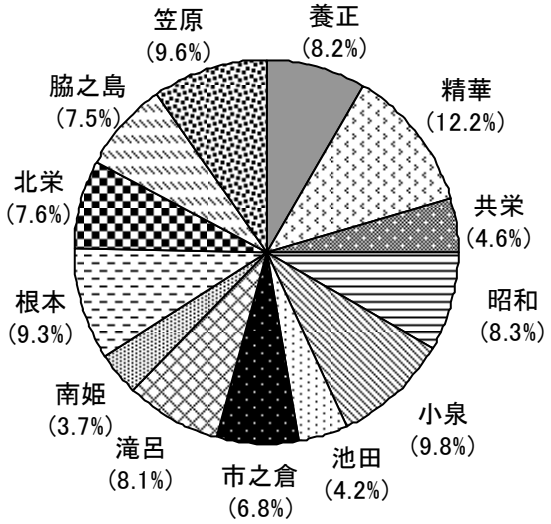
図１－２－１「年齢」



１－３　小学校区

回答者の小学校区は、「精華」（12.2%）が最も多く、以下「小泉」（9.8%）、「笠原」（9.6%）、「根本」（9.3%）、「昭和」（8.3%）、「養正」（8.2%）、「滝呂」（8.1%）、「北栄」（7.6%）、「脇之島」（7.5%）、「市之倉」（6.8%）、「共栄」（4.6%）、「池田」（4.2%）、「南姫」（3.7%）となっている。

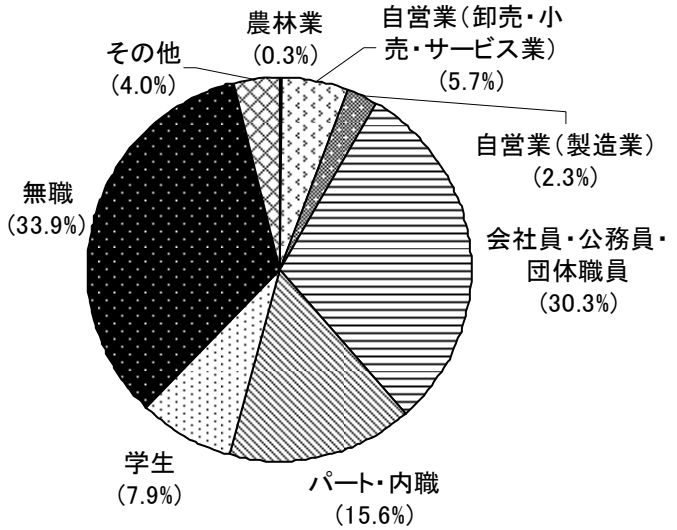
図１－３－１「小学校区」



１－４　職業

回答者の職業は、「無職」（33.9%）が最も多くなっている。職に就いている人の中では、「会社員・公務員・団体職員」（30.3%）が最も多く、以下「パート・内職」（15.6%）、「学生」（7.9%）、「自営業（卸売・小売・サービス業)」（5.7%）、「自営業（製造業)」（2.3%）、「農林業」（0.3%）となっている。

図１－４－１「職業」



第２章　住みやすさと居住意向

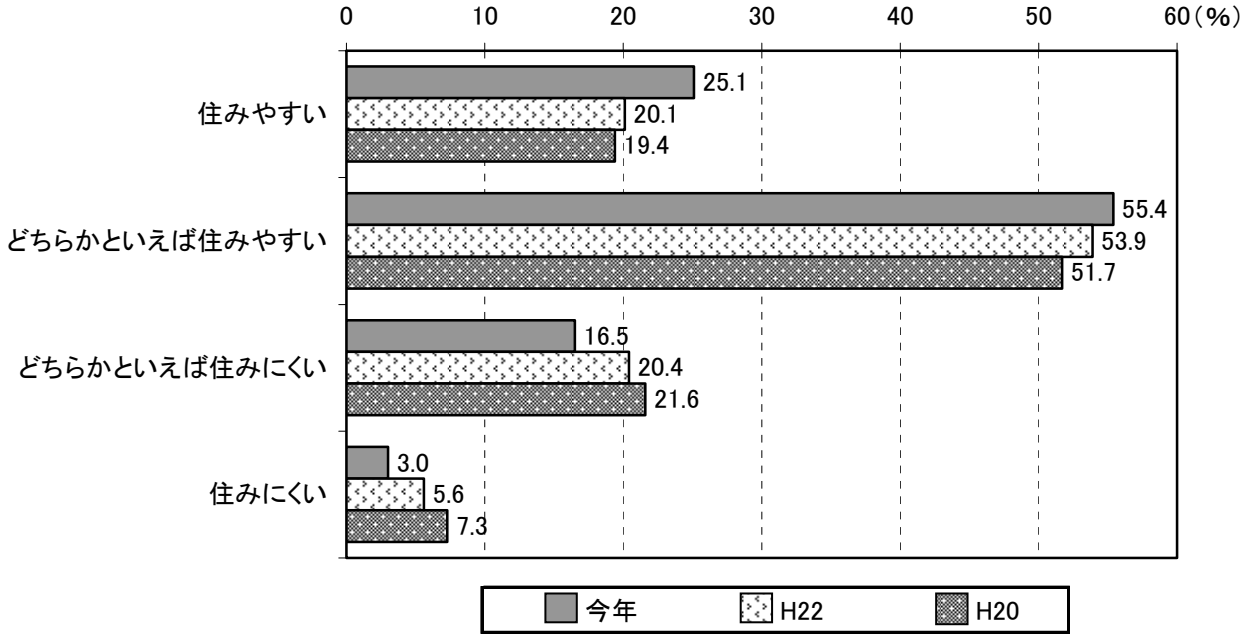
２－１　住みやすさ

「住みやすさ」については、「どちらかといえば住みやすい」（55.4%）が最も高く、これに「住みやすい」（25.1%）を合わせた“住みやすいと感じている人”は 80.5%と高くなっている。

一方、「どちらかといえば住みにくい」（16.5%）と「住みにくい」（3.0%）を合わせた“住みにくいと感じている人”は 19.5%となっている。

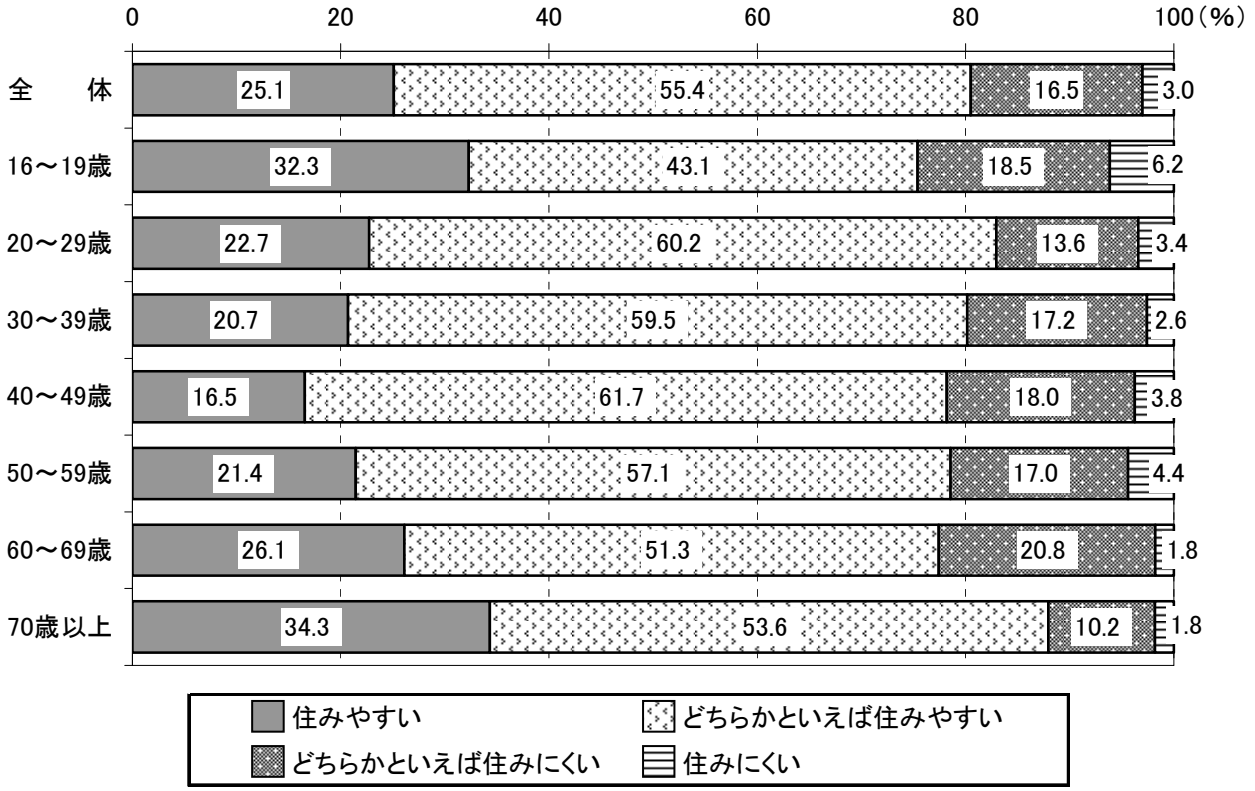
過去調査と比較すると、“住みやすいと感じている人”は増加しており、“住みにくいと感じている人”は減少している。

図２－１－１「住みやすさ」（過去調査比較）



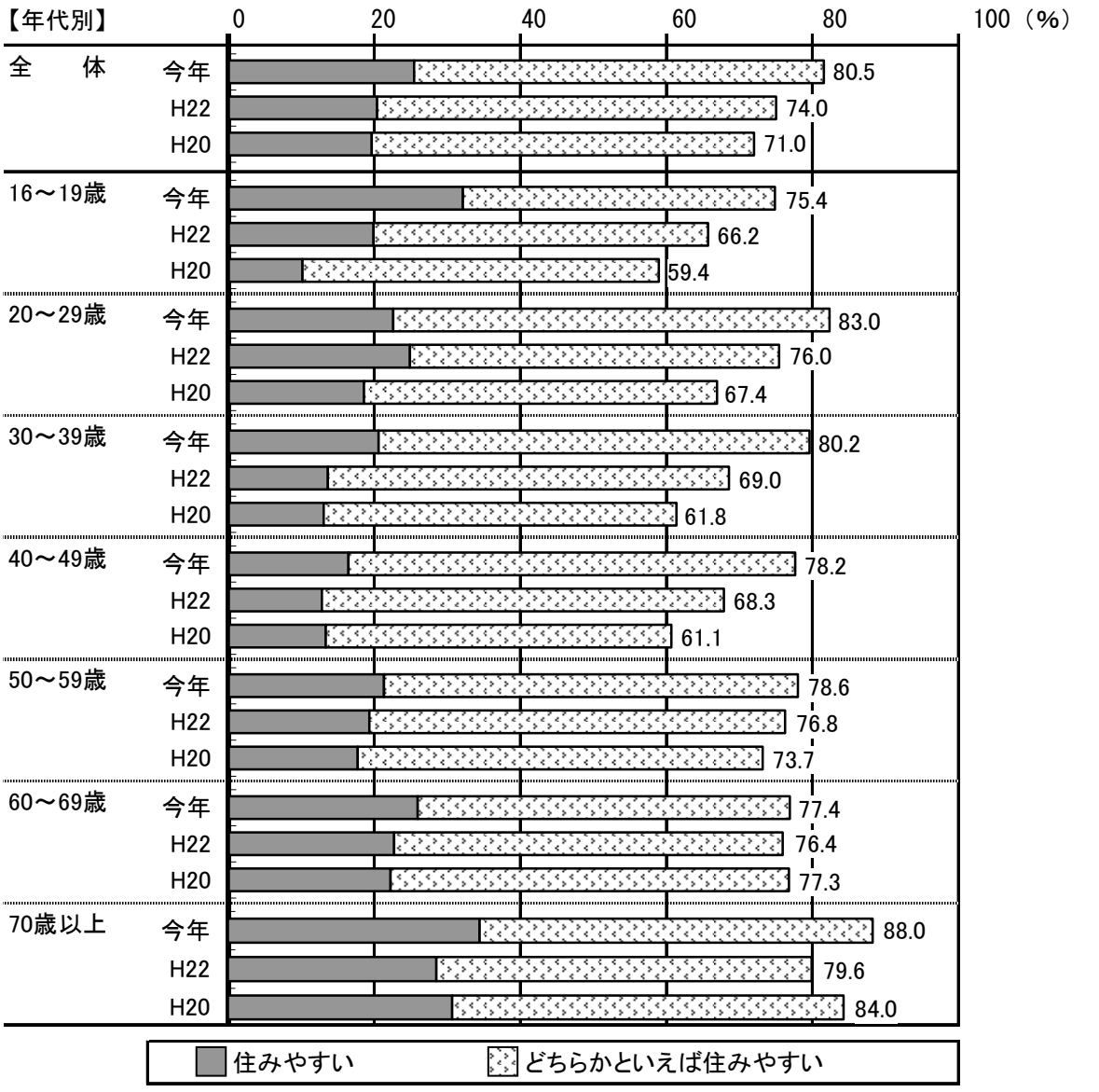
「住みやすさ」について年代別にみると、「住みやすい」では「70 歳以上」（34.3%）が最も高くなっている。また、「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”が最も高い「70 歳以上」（87.9%）と、最も低い「16～19 歳」（75.4%）では 12.5%の差がみられる。

図２－１－２　年代別「住みやすさ」



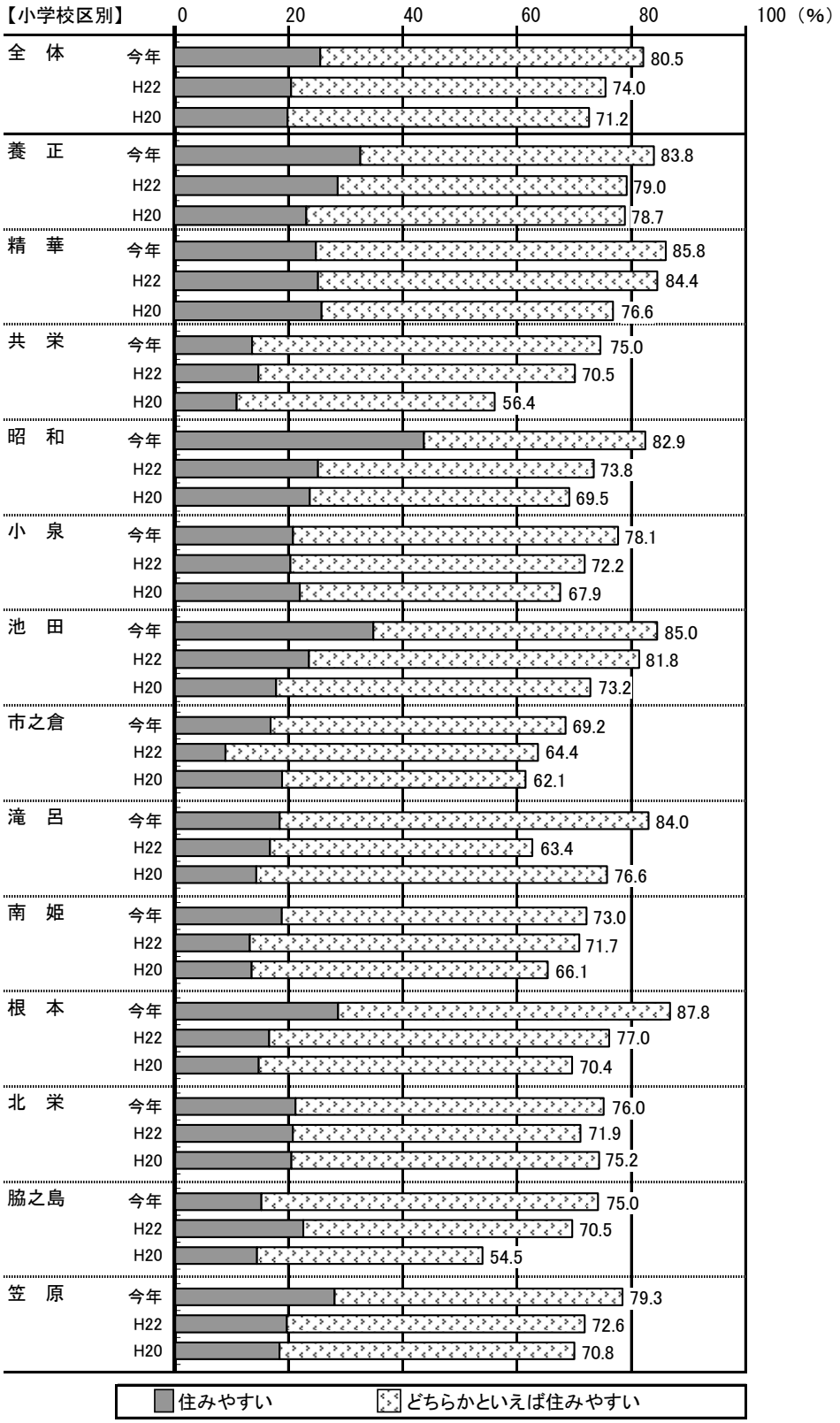
「住みやすさ」を年代別に過去調査と比較すると、“住みやすいと感じている人”が全ての年代において増加している。中でも「30～39 歳」は前回（H22）に比べ 11.2%増加している。

図２－１－３　年代別「住みやすさ」（過去調査比較）



「住みやすさ」を小学校区別に過去調査と比較すると、“住みやすいと感じている人”が全ての小学校区において増加している。中でも「滝呂小学校区」は前回（H22）に比べ 20.6%、「根本小学校区」は 10.8%増加している。

図２－１－４　小学校区別「住みやすさ」（過去調査比較）



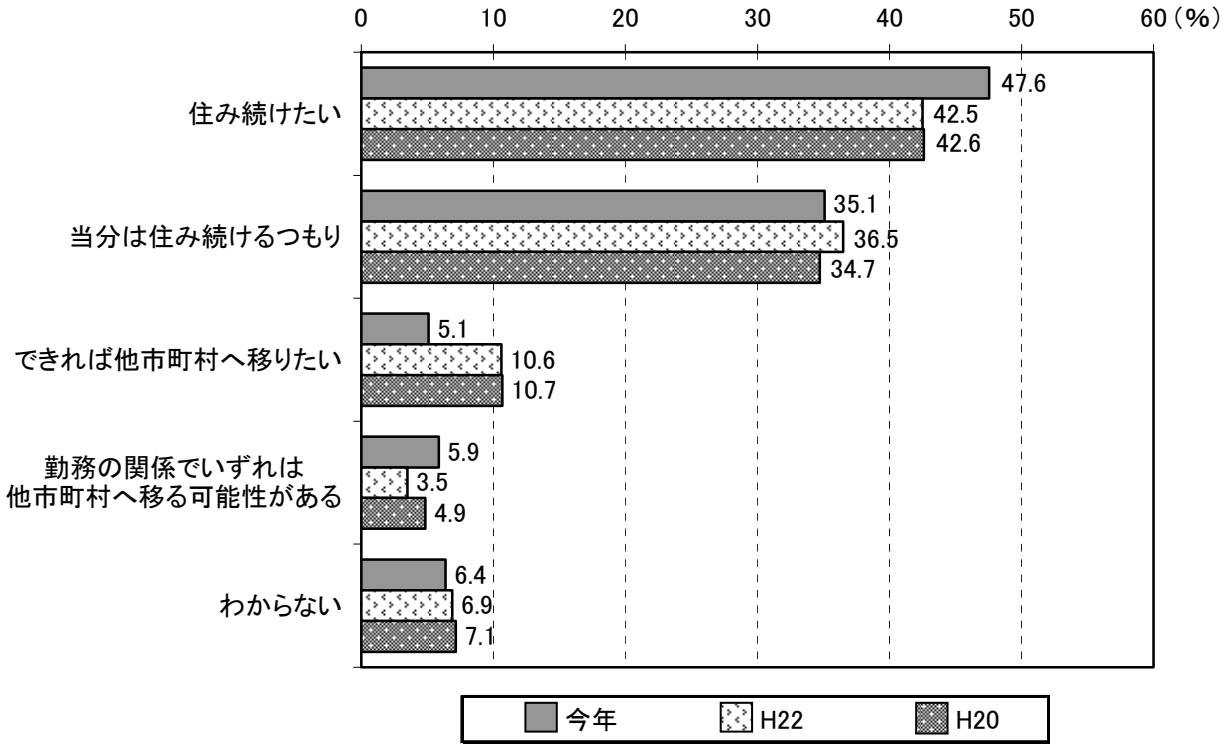
２－２　今後の居住意向

「今後の居住意向」については、「住み続けたい」（47.6%）が最も高く、これに「当分は住み続けるつもり」（35.1%）を合わせた“住み続けたいと思っている人”は82.7%と高くなっている。

一方、「できれば他市町村へ移りたい」では5.1%と低くなっている。

過去調査と比較すると、「住み続けたい」と回答した割合は前回（H22）より 5.1%増加し、「当分は住み続けるつもり」は前回（H22）より 1.4%減少している。「できれば他市町村へ移りたい」では前回（H22）より 5.5%減少している。

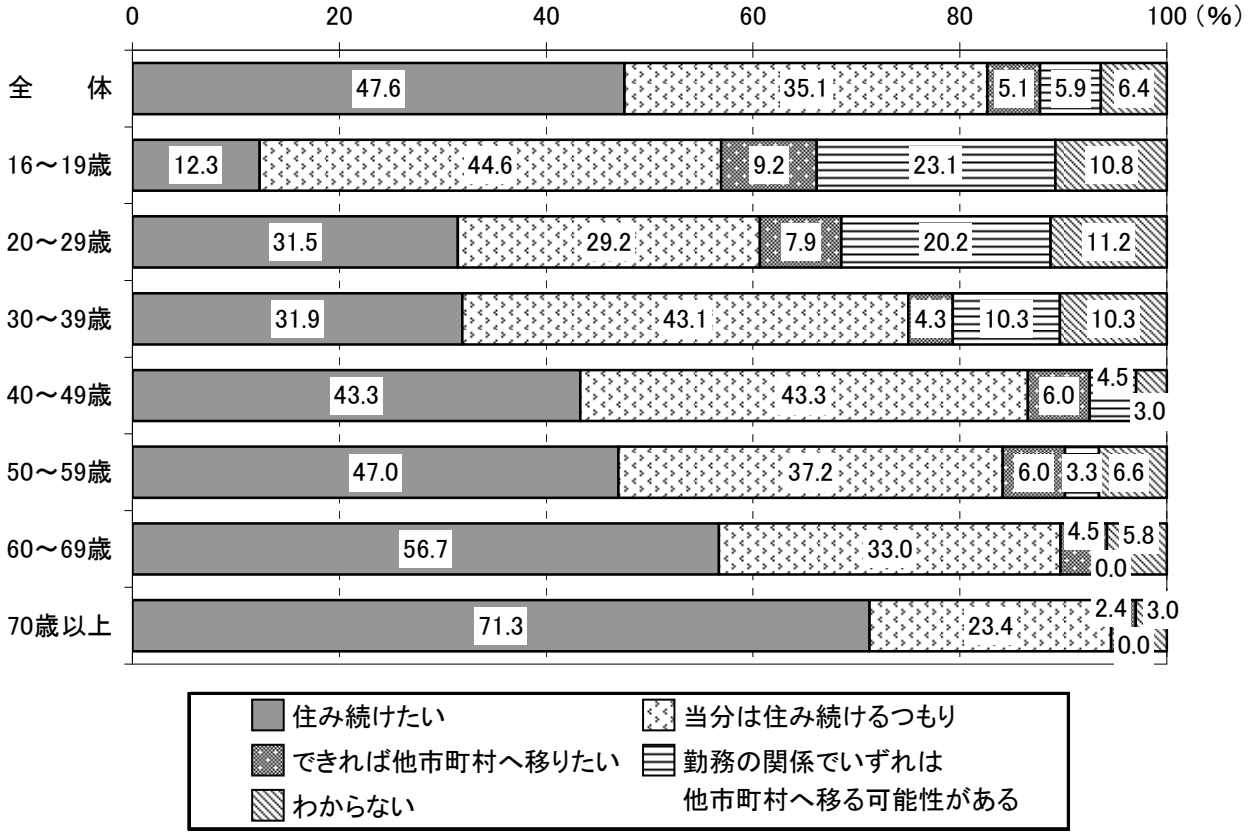
図２－２－１「今後の居住意向」（過去調査比較）



「今後の居住意向」について年代別にみると、「住み続けたい」は年代が上がるにつれて高くなっており、「16～19 歳」（12.3%）と「70 歳以上」（71.3%）とでは 59.0%の差がある。

「できれば他市町村へ移りたい」「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」では「16～19 歳」（9.2%、23.1%）がそれぞれ最も高くなっている。

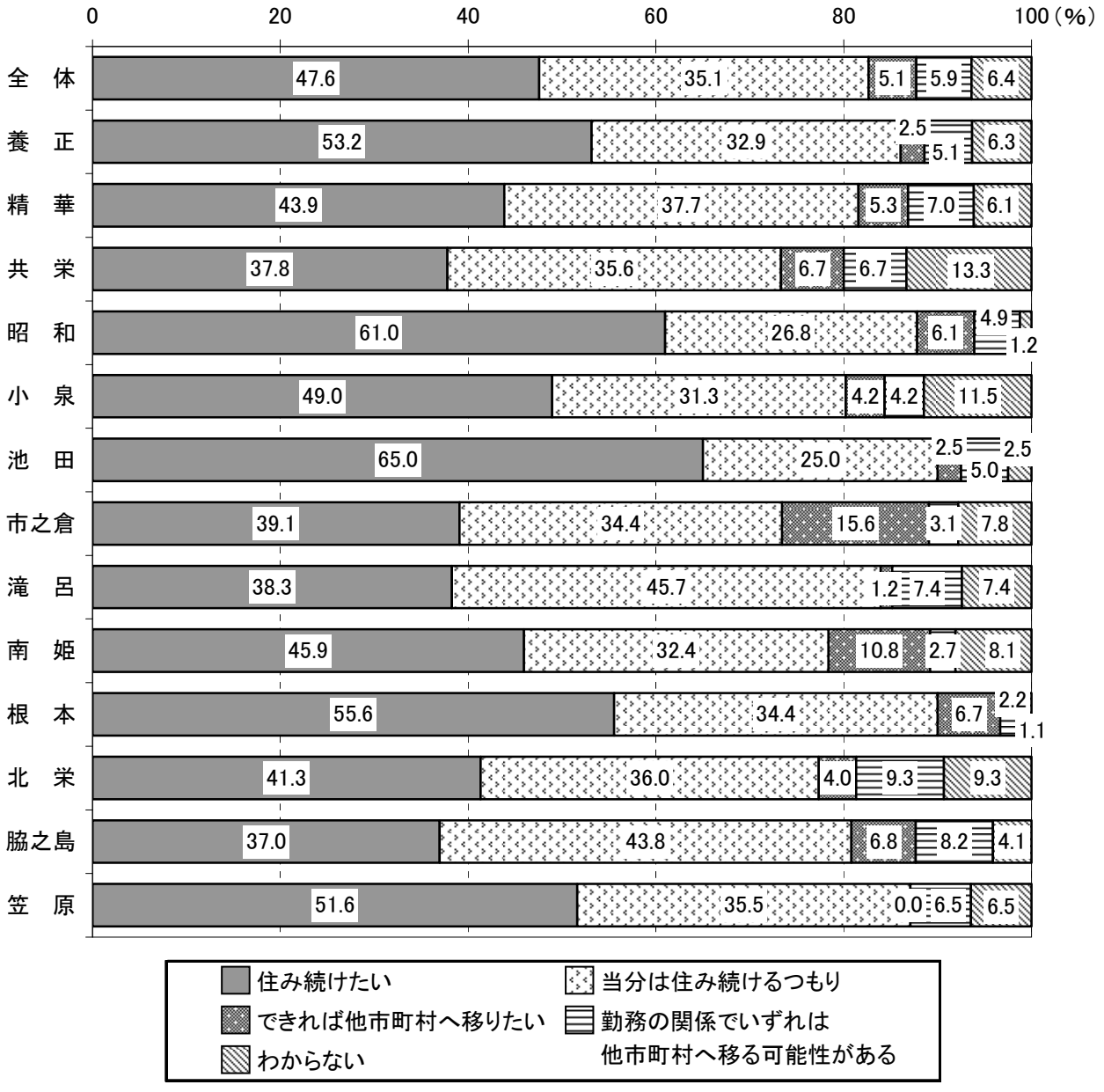
図２－２－２　年代別「今後の居住意向」



「今後の居住意向」について小学校区別にみると、「住み続けたい」では「池田」（65.0%）、「当分は住み続けるつもり」では「滝呂」（45.7%）が最も高くなっている。

また「できれば他市町村へ移りたい」では「市之倉」（15.6%）、「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」では「北栄」（9.3%）が高くなっている。

図２－２－３　小学校区別「今後の居住意向」



第３章　市政全般について

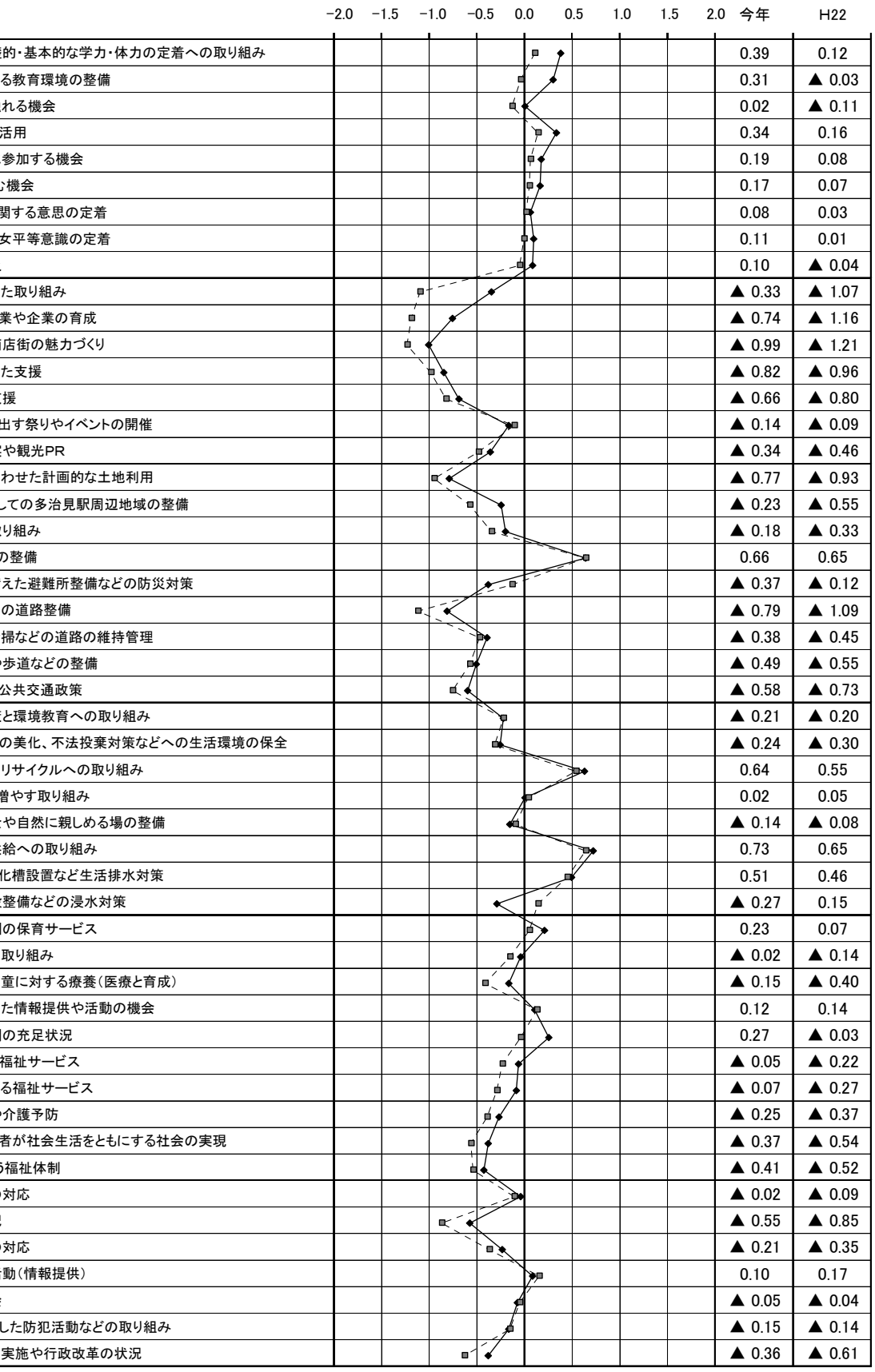
３－１　市政への満足度

「市政への満足度」について尋ねたところ、プラスだった項目は、「水道水の安定供給への取り組み」（0.73 ポイント）、「消防・救急体制の整備」（0.66 ポイント）、「ごみの減量化やリサイクルへの取り組み」（0.64 ポイント）、「下水道整備、浄化槽設置など生活排水対策」（0.51 ポイント）、「小中学生の基礎的・基本的な学力・体力の定着への取り組み」（0.39 ポイント）、「文化財の保存と活用」（0.34 ポイント）、「小中学校における教育環境の整備」（0.31 ポイント）、「市内の医療機関の充足状況」（0.27 ポイント）、「幼稚園や保育園の保育サービス」（0.23 ポイント）、「生涯学習活動に参加する機会」（0.19 ポイント）、「スポーツを楽しむ機会」（0.17 ポイント）、「健康増進に向けた情報提供や活動の機会」（0.12 ポイント）、「社会における男女平等意識の定着」（0.11 ポイント）、「人権意識の普及」（0.10 ポイント）、「市民への広報活動（情報提供）」（0.10 ポイント）、「子どもの権利に関する意思の定着」（0.08 ポイント）、「芸術や文化に触れる機会」（0.02 ポイント）、「まちなかの緑を増やす取り組み」（0.02 ポイント）、と 50 項目中 18 項目となっている。

一方、マイナス評価だった項目は、「中心市街地や商店街の魅力づくり」（-0.99 ポイント）、「農業振興に向けた支援」（-0.82 ポイント）、「渋滞解消のための道路整備」（-0.79 ポイント）など 50 項目中 32 項目となっている。

過去調査と比較すると、マイナス評価からプラス評価に転じた項目は 4 項目あり、中でも「小中学校における教育環境の整備」は、平成 22 年度（-0.03 ポイント）と今年（0.31 ポイント）で 0.34 ポイント上昇、「市内の医療機関の充足状況」では、平成 22 年度（-0.03 ポイント）と今年（0.27 ポイント）で 0.30 ポイント上昇している。一方、プラス評価からマイナス評価に転じた項目は 1 項目あり、「雨水の排水施設整備などの浸水対策」は、平成 22 年度（0.15 ポイント）と今年（-0.27 ポイント）で 0.42 ポイント下降している。

図３－１－１「市政への満足度」



		今年	H22
1	(1)小中学生の基礎的・基本的な学力・体力の定着への取り組み	0.39	0.12
	(2)小中学校における教育環境の整備	0.31	▲ 0.03
	(3)芸術や文化に触れる機会	0.02	▲ 0.11
	(4)文化財の保存と活用	0.34	0.16
	(5)生涯学習活動に参加する機会	0.19	0.08
	(6)スポーツを楽しむ機会	0.17	0.07
	(7)子どもの権利に関する意思の定着	0.08	0.03
	(8)社会における男女平等意識の定着	0.11	0.01
	(9)人権意識の普及	0.10	▲ 0.04
2	(1)企業勧誘に向けた取り組み	▲ 0.33	▲ 1.07
	(2)新しい分野の産業や企業の育成	▲ 0.74	▲ 1.16
	(3)中心市街地や商店街の魅力づくり	▲ 0.99	▲ 1.21
	(4)農業振興に向けた支援	▲ 0.82	▲ 0.96
	(5)地場産業への支援	▲ 0.66	▲ 0.80
	(6)にぎわいを生み出す祭りやイベントの開催	▲ 0.14	▲ 0.09
	(7)観光資源の充実や観光PR	▲ 0.34	▲ 0.46
3	(1)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲ 0.77	▲ 0.93
	(2)にぎわい拠点としての多治見駅周辺地域の整備	▲ 0.23	▲ 0.55
	(3)景観保全への取り組み	▲ 0.18	▲ 0.33
	(4)消防・救急体制の整備	0.66	0.65
	(5)大規模災害に備えた避難所整備などの防災対策	▲ 0.37	▲ 0.12
	(6)渋滞解消のための道路整備	▲ 0.79	▲ 1.09
	(7)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	▲ 0.38	▲ 0.45
	(8)交通安全対策や歩道などの整備	▲ 0.49	▲ 0.55
	(9)鉄道やバスなど公共交通政策	▲ 0.58	▲ 0.73
4	(1)地球温暖化対策と環境教育への取り組み	▲ 0.21	▲ 0.20
	(2)公害防止やまちの美化、不法投棄対策などへの生活環境の保全	▲ 0.24	▲ 0.30
	(3)ごみの減量化やリサイクルへの取り組み	0.64	0.55
	(4)まちなかの緑を増やす取り組み	0.02	0.05
	(5)自然環境の保全や自然に親しめる場の整備	▲ 0.14	▲ 0.08
	(6)水道水の安定供給への取り組み	0.73	0.65
	(7)下水道整備、浄化槽設置など生活排水対策	0.51	0.46
	(8)雨水の排水施設整備などの浸水対策	▲ 0.27	0.15
5	(1)幼稚園や保育園の保育サービス	0.23	0.07
	(2)子育て支援への取り組み	▲ 0.02	▲ 0.14
	(3)支援の必要な児童に対する療養(医療と育成)	▲ 0.15	▲ 0.40
	(4)健康増進に向けた情報提供や活動の機会	0.12	0.14
	(5)市内の医療機関の充足状況	0.27	▲ 0.03
	(6)高齢者に対する福祉サービス	▲ 0.05	▲ 0.22
	(7)障がい者に対する福祉サービス	▲ 0.07	▲ 0.27
	(8)介護保険事業や介護予防	▲ 0.25	▲ 0.37
	(9)障がい者と健常者が社会生活をともにする社会の実現	▲ 0.37	▲ 0.54
	(10)地域で支えあう福祉体制	▲ 0.41	▲ 0.52
6	(1)職員の市民への対応	▲ 0.02	▲ 0.09
	(2)財政運営の状況	▲ 0.55	▲ 0.85
	(3)情報化社会への対応	▲ 0.21	▲ 0.35
	(4)市民への広報活動(情報提供)	0.10	0.17
	(5)市民参加の機会	▲ 0.05	▲ 0.04
	(6)地域と連携協力した防犯活動などの取り組み	▲ 0.15	▲ 0.14
	(7)計画的な事業の実施や行政改革の状況	▲ 0.36	▲ 0.61

今年　H22

※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

「市政への満足度」について年代別に全項目をみると、「16～19 歳」の満足度が高く、「評価がプラスの項目」は 50 項目中 40 項目、「最も評価の高い項目」の数が 39 項目、「最も評価の低い項目」の数は 0 項目となっている。一方「50～59 歳」では満足度が低く、「評価がプラスの項目」は 50 項目中 9 項目、「最も評価の高い項目」の数が 0 項目、「最も評価の低い項目」の数は 30 項目となっている。

最も満足度が高い項目は「70 歳以上」の「水道水の安定供給への取り組み」（1.03 ポイント）で、次いで同年代の「消防・救急体制の整備」（0.87 ポイント）となっている。一方、最も満足度が低い項目は「50～59 歳」の「中心市街地や商店街の魅力づくり」（-1.16 ポイント）で、次いで同年代の「渋滞解消のための道路整備」（-1.07 ポイント）となっている。

表３－１－１　年代別「市政への満足度」

		全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	(1)小中学生の基礎的・基本的な学力・体力の定着への取り組み	0.39	0.77	0.41	*0.21*	0.25	0.30	0.49	0.37
	(2)小中学校における教育環境の整備	0.31	0.59	0.31	*0.09*	0.16	0.33	0.43	0.29
	(3)芸術や文化に触れる機会	0.02	0.75	0.11	0.04	0.01	◢ *0.28*	▲ 0.13	0.13
	(4)文化財の保存と活用	0.34	0.83	0.32	0.28	0.36	*0.23*	0.23	0.39
	(5)生涯学習活動に参加する機会	0.19	0.46	0.20	0.18	0.38	◢ *0.02*	0.14	0.24
	(6)スポーツを楽しむ機会	0.17	0.39	0.21	0.19	0.19	◢ *0.03*	0.18	0.26
	(7)子どもの権利に関する意思の定着	0.08	0.51	0.13	0.14	0.17	▲ 0.13	0.10	◢ *0.16*
	(8)社会における男女平等意識の定着	0.11		0.08	0.04	0.02	◢ *0.25*	0.06	0.33
	(9)人権意識の普及	0.10	0.67	0.14	0.28	0.14	◢ *0.22*	0.04	0.06
2	(1)企業誘致に向けた取り組み	▲ 0.33	0.06	▲ 0.09	▲ 0.30	▲ 0.23	▲ 0.48	◢ *0.52*	▲ 0.23
	(2)新しい分野の産業や企業の育成	▲ 0.74	▲ 0.26	▲ 0.66	▲ 0.78	▲ 0.70	◢ *0.92*	▲ 0.76	▲ 0.62
	(3)中心市街地や商店街の魅力づくり	▲ 0.99	▲ 0.66	▲ 0.85	▲ 0.92	▲ 0.98	◢ *1.16*	▲ 0.99	▲ 1.06
	(4)農業振興に向けた支援	▲ 0.82	▲ 0.76	▲ 0.79	▲ 0.86	▲ 0.84	◢ *0.99*	▲ 0.82	▲ 0.62
	(5)地場産業への支援	▲ 0.66	▲ 0.44	▲ 0.32	◢ *0.85*	▲ 0.54	▲ 0.77	▲ 0.77	▲ 0.65
	(6)にぎわいを生み出す祭りやイベントの開催	▲ 0.14	0.27	0.23	▲ 0.35	▲ 0.09	◢ *0.37*	▲ 0.12	▲ 0.32
	(7)観光資源の充実や観光PR	▲ 0.34	0.13	0.06	▲ 0.43	▲ 0.32	◢ *0.58*	▲ 0.33	▲ 0.50
3	(1)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲ 0.77	▲ 0.56	▲ 0.57	▲ 0.76	▲ 0.65	◢ *0.94*	▲ 0.83	▲ 0.86
	(2)にぎわい拠点としての多治見駅周辺地域の整備	▲ 0.23	0.24	▲ 0.07	▲ 0.44	▲ 0.27	◢ *0.56*	▲ 0.14	▲ 0.05
	(3)景観保全への取り組み	▲ 0.18	0.29	▲ 0.33	▲ 0.22	▲ 0.17	◢ *0.35*	▲ 0.13	▲ 0.23
	(4)消防・救急体制の整備	0.66	0.82	0.67	0.55	*0.42*	0.61	0.61	0.87
	(5)大規模災害に備えた避難所整備などの防災対策	▲ 0.37	▲ 0.03	▲ 0.12	◢ *0.68*	▲ 0.46	▲ 0.56	▲ 0.38	▲ 0.22
	(6)渋滞解消のための道路整備	▲ 0.79	▲ 0.28	▲ 0.79	▲ 0.92	▲ 0.79	◢ *1.07*	▲ 0.84	▲ 0.57
	(7)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	▲ 0.38	0.06	▲ 0.30	▲ 0.30	▲ 0.37	◢ *0.57*	▲ 0.51	▲ 0.29
	(8)交通安全対策や歩道などの整備	▲ 0.49	▲ 0.02	▲ 0.27	▲ 0.52	▲ 0.61	◢ *0.76*	▲ 0.54	▲ 0.40
	(9)鉄道やバスなど公共交通政策	▲ 0.58	▲ 0.28	▲ 0.62	▲ 0.56	▲ 0.75	◢ *0.77*	▲ 0.57	▲ 0.43
4	(1)地球温暖化対策と環境教育への取り組み	▲ 0.21	0.35	▲ 0.20	▲ 0.16	▲ 0.08	◢ *0.41*	▲ 0.29	▲ 0.24
	(2)公害防止やまちの美化、不法投棄対策などへの生活環境の保全	▲ 0.24	0.00	▲ 0.18	▲ 0.03	▲ 0.18	▲ 0.24	▲ 0.37	◢ *0.46*
	(3)ごみの減量化やリサイクルへの取り組み	0.64	0.80	0.51	*0.38*	0.55	0.55	0.86	0.65
	(4)まちなかの緑を増やす取り組み	0.02	0.14	0.27	0.15	▲ 0.04	▲ 0.15	0.10	◢ *0.20*
	(5)自然環境の保全や自然に親しめる場の整備	▲ 0.14	0.00	▲ 0.01	0.15	▲ 0.17	◢ *0.44*	▲ 0.17	▲ 0.05
	(6)水道水の安定供給への取り組み	0.73	0.81	0.67	0.76	*0.53*	0.64	0.66	1.03
	(7)下水道整備、浄化槽設置など生活排水対策	0.51	0.63	0.52	0.53	0.35	*0.33*	0.51	0.76
	(8)雨水の排水施設整備などの浸水対策	▲ 0.27	0.28	▲ 0.28	▲ 0.30	◢ *0.38*	▲ 0.35	▲ 0.36	▲ 0.18
5	(1)幼稚園や保育園の保育サービス	0.23	0.51	0.18	◢ *0.22*	0.25	0.09	0.45	0.30
	(2)子育て支援への取り組み	▲ 0.02	0.31	0.02	◢ *0.48*	0.00	▲ 0.20	0.12	0.15
	(3)支援の必要な児童に対する療養（医療と育成）	▲ 0.15	0.22	▲ 0.16	◢ *0.45*	▲ 0.30	▲ 0.39	0.10	▲ 0.04
	(4)健康増進に向けた情報提供や活動の機会	0.12	0.39	0.06	▲ 0.12	0.11	◢ *0.16*	0.28	0.24
	(5)市内の医療機関の充足状況	0.27	0.54	0.38	0.22	0.05	*0.05*	0.31	0.46
	(6)高齢者に対する福祉サービス	▲ 0.05	0.29	0.36	▲ 0.15	▲ 0.14	▲ 0.17	◢ *0.30*	0.15
	(7)障がい者に対する福祉サービス	▲ 0.07	0.18	0.21	▲ 0.19	▲ 0.18	◢ *0.38*	▲ 0.21	0.30
	(8)介護保険事業や介護予防	▲ 0.25	0.07	▲ 0.03	▲ 0.32	▲ 0.32	◢ *0.37*	▲ 0.36	▲ 0.21
	(9)障がい者と健常者が社会生活をともにする社会の実現	▲ 0.37	0.14	▲ 0.24	▲ 0.48	▲ 0.42	◢ *0.71*	▲ 0.48	▲ 0.22
	(10)地域で支えあう福祉体制	▲ 0.41	0.10	▲ 0.41	▲ 0.41	▲ 0.45	◢ *0.59*	▲ 0.57	▲ 0.23
6	(1)職員の市民への対応	▲ 0.02	0.06	▲ 0.36	◢ *0.40*	▲ 0.03	▲ 0.27	0.09	0.46
	(2)財政運営の状況	▲ 0.55	▲ 0.04	▲ 0.76	◢ *0.87*	▲ 0.70	▲ 0.77	▲ 0.35	▲ 0.27
	(3)情報化社会への対応	▲ 0.21	0.47	▲ 0.40	▲ 0.39	◢ *0.42*	▲ 0.41	▲ 0.11	0.01
	(4)市民への広報活動（情報提供）	0.10	0.56	0.07	◢ *0.31*	0.00	▲ 0.17	0.23	0.35
	(5)市民参加の機会	▲ 0.05	0.21	0.05	▲ 0.12	▲ 0.01	◢ *0.39*	0.01	0.02
	(6)地域と連携協力した防犯活動などの取り組み	▲ 0.15	0.26	▲ 0.08	▲ 0.14	▲ 0.11	◢ *0.35*	▲ 0.18	▲ 0.12
	(7)計画的な事業の実施や行政改革の状況	▲ 0.36	0.07	▲ 0.17	▲ 0.25	▲ 0.43	◢ *0.69*	▲ 0.34	▲ 0.34
評価がプラスの項目（全50項目中）		18	39	24	16	18	9	21	22
全体よりも評価が低い項目（全50項目中）			0	15	21	25	19	25	9
最も評価の高い項目数（全50項目中）			39	3	1	0	0	1	6
最も評価の低い項目数（全50項目中）			0	0	11	4	30	2	3

▲　：マイナス
■　：全体よりも評価の低いもの
下線　：各項目で最も評価の高いもの
斜体　：各項目で最も評価の低いもの

「市政への満足度」について小学校区別に全項目をみると、「南姫」の満足度が高く、「評価がプラスの項目」は 50 項目中 32 項目、「最も評価の高い項目」の数は 22 項目、「最も評価の低い項目」の数は 1 項目となっている。一方、満足度が低いのは、「北栄」で、「評価がプラスの項目」は 50 項目中 11 項目、「最も評価の低い項目」の数が 15 項目、「最も評価の高い項目」の数は 0 項目となっている。

最も満足度が高い項目は、「南姫」「共栄」の「水道水の安定供給への取り組み」(1.00 ポイント)、次いで「昭和」の「消防・救急体制の整備」(0.93 ポイント) となっている。一方、最も満足度が低い項目は、「共栄」の「農業振興に向けた支援」(-1.29 ポイント)、次いで「北栄」の「中心市街地や商店街の魅力づくり」(-1.25 ポイント) となっている。

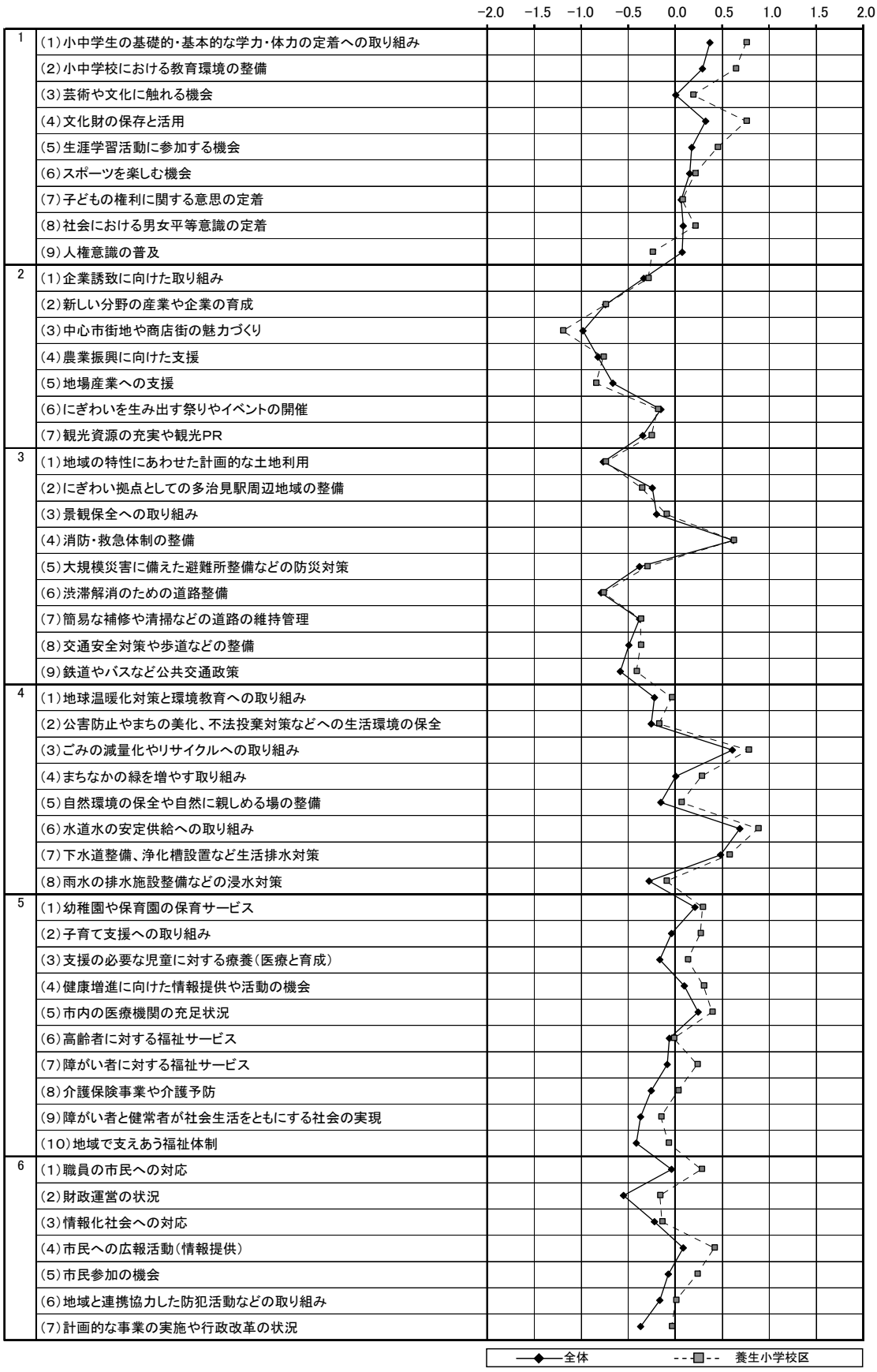
次頁からは、各小学校区別の満足度を全体と比較したグラフを掲載している。

表３－１－２　小学校区別「市政への満足度」

		全体	養正	精華	共栄	昭和	小泉	池田	市之倉	滝呂	南姫	根本	北栄	脇之島	笠原
1	(1)小中学生の基礎的・基本的な学力・体力の定着への取り組み	0.39	0.79	0.41	0.79	0.25	*0.06*	0.10	0.37	0.43	0.58	0.61	0.07	0.77	0.35
	(2)小中学校における教育環境の整備	0.31	0.68	0.58	0.38	0.26	◢ *0.32*	0.28	0.18	0.60	0.53	0.55	0.25	0.50	0.12
	(3)芸術や文化に触れる機会	0.02	0.21	▲ 0.07	▲ 0.24	0.05	▲ 0.05	◢ *0.37*	0.18	0.06	0.12	0.15	▲ 0.14	▲ 0.19	0.19
	(4)文化財の保存と活用	0.34	0.79	0.20	◢ *0.04*	0.48	0.19	0.32	0.48	0.31	0.63	0.40	0.14	0.36	0.24
	(5)生涯学習活動に参加する機会	0.19	0.48	0.22	◢ *0.36*	0.26	0.09	▲ 0.06	0.36	0.21	0.70	0.21	0.02	0.05	0.24
	(6)スポーツを楽しむ機会	0.17	0.24	◢ *0.13*	0.23	0.06	▲ 0.03	0.20	0.04	0.60	0.48	0.32	▲ 0.04	0.26	0.33
	(7)子どもの権利に関する意思の定着	0.08	0.09	0.00	0.07	▲ 0.03	▲ 0.07	0.10	0.17	0.24	0.62	0.33	◢ *0.23*	▲ 0.04	0.06
	(8)社会における男女平等意識の定着	0.11	0.23	▲ 0.02	◢ *0.17*	0.09	0.10	0.22	0.28	▲ 0.07	0.38	0.17	0.14	0.04	▲ 0.04
	(9)人権意識の普及	0.10	▲ 0.23	0.13	◢ *0.25*	0.16	0.04	0.13	▲ 0.03	0.05	0.33	0.28	▲ 0.03	0.21	0.13
2	(1)企業誘致に向けた取り組み	▲ 0.33	▲ 0.28	◢ *0.58*	▲ 0.24	▲ 0.52	▲ 0.32	▲ 0.19	▲ 0.41	▲ 0.52	▲ 0.08	▲ 0.03	▲ 0.33	▲ 0.34	▲ 0.34
	(2)新しい分野の産業や企業の育成	▲ 0.74	▲ 0.75	◢ *0.97*	▲ 0.85	▲ 0.74	▲ 0.71	▲ 0.55	▲ 0.78	▲ 0.80	▲ 0.32	▲ 0.40	▲ 0.87	▲ 0.75	▲ 0.75
	(3)中心市街地や商店街の魅力づくり	▲ 0.99	▲ 1.21	▲ 1.14	▲ 1.10	▲ 1.16	▲ 0.94	▲ 0.68	▲ 0.90	▲ 0.77	▲ 0.58	▲ 0.65	◢ *1.25*	▲ 1.05	▲ 1.07
	(4)農業振興に向けた支援	▲ 0.82	▲ 0.76	▲ 0.78	◢ *1.29*	▲ 0.69	▲ 1.07	▲ 0.73	▲ 0.48	▲ 1.00	▲ 0.37	▲ 0.55	▲ 0.83	▲ 0.97	▲ 1.04
	(5)地場産業への支援	▲ 0.66	▲ 0.85	▲ 0.61	◢ *0.92*	▲ 0.68	▲ 0.63	▲ 0.63	▲ 0.36	▲ 0.66	▲ 0.22	▲ 0.44	▲ 0.91	▲ 0.69	▲ 0.88
	(6)にぎわいを生み出す祭りやイベントの開催	▲ 0.14	▲ 0.18	▲ 0.29	▲ 0.25	▲ 0.30	▲ 0.02	▲ 0.11	▲ 0.22	0.04	▲ 0.11	0.11	◢ *0.64*	▲ 0.10	▲ 0.08
	(7)観光資源の充実や観光PR	▲ 0.34	▲ 0.24	▲ 0.36	▲ 0.21	▲ 0.41	▲ 0.27	▲ 0.35	▲ 0.36	▲ 0.36	▲ 0.31	▲ 0.28	◢ *0.63*	▲ 0.27	▲ 0.29
3	(1)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲ 0.77	▲ 0.75	▲ 0.78	▲ 0.72	▲ 0.67	▲ 0.81	▲ 0.48	▲ 0.85	▲ 0.55	▲ 0.91	▲ 0.78	▲ 0.65	▲ 0.91	◢ *1.03*
	(2)にぎわい拠点としての多治見駅周辺地域の整備	▲ 0.23	▲ 0.35	◢ *0.65*	▲ 0.20	▲ 0.30	▲ 0.24	▲ 0.02	▲ 0.27	0.15	0.15	0.06	▲ 0.07	▲ 0.44	▲ 0.23
	(3)景観保全への取り組み	▲ 0.18	▲ 0.08	◢ *0.48*	▲ 0.10	▲ 0.13	▲ 0.29	▲ 0.19	▲ 0.34	0.19	0.17	▲ 0.11	▲ 0.33	▲ 0.23	▲ 0.12
	(4)消防・救急体制の整備	0.66	0.66	0.54	0.66	0.93	0.46	0.77	0.47	0.73	1.00	0.84	*0.18*	0.50	0.75
	(5)大規模災害に備えた避難所整備などの防災対策	▲ 0.37	▲ 0.29	▲ 0.61	▲ 0.44	▲ 0.19	▲ 0.31	▲ 0.44	▲ 0.45	▲ 0.27	0.08	▲ 0.42	◢ *0.70*	▲ 0.15	▲ 0.54
	(6)渋滞解消のための道路整備	▲ 0.79	▲ 0.77	▲ 0.76	▲ 0.26	▲ 0.92	▲ 1.02	▲ 0.68	◢ *1.18*	▲ 0.87	▲ 0.52	▲ 0.49	▲ 0.49	▲ 1.01	▲ 1.01
	(7)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	▲ 0.38	▲ 0.36	▲ 0.31	▲ 0.21	▲ 0.19	▲ 0.56	▲ 0.14	▲ 0.65	▲ 0.25	▲ 0.58	▲ 0.30	▲ 0.52	▲ 0.20	◢ *0.73*
	(8)交通安全対策や歩道などの整備	▲ 0.49	▲ 0.36	▲ 0.57	▲ 0.35	▲ 0.44	▲ 0.75	▲ 0.45	◢ *0.81*	▲ 0.51	▲ 0.63	▲ 0.27	▲ 0.58	▲ 0.18	▲ 0.55
	(9)鉄道やバスなど公共交通政策	▲ 0.58	▲ 0.41	▲ 0.44	◢ *1.03*	▲ 0.10	▲ 0.72	▲ 0.41	▲ 0.92	▲ 0.75	▲ 0.84	▲ 0.60	▲ 0.79	▲ 0.31	▲ 0.70
4	(1)地球温暖化対策と環境教育への取り組み	▲ 0.21	▲ 0.02	▲ 0.26	0.11	▲ 0.13	▲ 0.37	▲ 0.32	▲ 0.10	▲ 0.08	0.23	▲ 0.16	▲ 0.38	◢ *0.46*	▲ 0.40
	(2)公害防止やまちの美化、不法投棄対策などへの生活環境の保全	▲ 0.24	▲ 0.16	▲ 0.35	▲ 0.04	▲ 0.11	▲ 0.36	▲ 0.03	▲ 0.25	▲ 0.06	▲ 0.11	▲ 0.18	▲ 0.53	▲ 0.06	◢ *0.65*
	(3)ごみの減量化やリサイクルへの取り組み	0.64	0.81	0.52	0.58	0.77	0.54	0.68	0.54	0.78	0.83	0.73	0.58	0.73	*0.42*
	(4)まちなかの緑を増やす取り組み	0.02	0.30	◢ *0.20*	0.27	▲ 0.19	▲ 0.19	0.32	0.17	0.19	0.07	0.04	▲ 0.07	0.04	▲ 0.10
	(5)自然環境の保全や自然に親しめる場の整備	▲ 0.14	0.08	▲ 0.33	▲ 0.22	▲ 0.25	▲ 0.13	0.21	▲ 0.16	0.11	▲ 0.16	0.00	◢ *0.51*	0.05	▲ 0.31
	(6)水道水の安定供給への取り組み	0.73	0.92	0.63	1.00	0.87	0.71	0.81	0.49	0.70	1.00	0.77	0.65	*0.38*	0.80
	(7)下水道整備、浄化槽設置など生活排水対策	0.51	0.61	0.58	0.32	0.65	0.44	0.77	0.26	0.74	◢ *0.62*	0.68	0.61	0.47	0.40
	(8)雨水の排水施設整備などの浸水対策	▲ 0.27	▲ 0.08	▲ 0.26	◢ *0.59*	▲ 0.46	▲ 0.45	▲ 0.30	▲ 0.35	0.00	▲ 0.31	▲ 0.31	▲ 0.12	▲ 0.21	▲ 0.26
5	(1)幼稚園や保育園の保育サービス	0.23	0.31	0.29	0.32	0.46	◢ *0.11*	0.65	0.11	0.33	0.52	0.21	0.22	0.06	0.06
	(2)子育て支援への取り組み	▲ 0.02	0.29	▲ 0.21	0.12	0.10	◢ *0.35*	0.29	▲ 0.18	0.36	0.45	0.04	▲ 0.33	▲ 0.21	▲ 0.17
	(3)支援の必要な児童に対する療養(医療と育成)	▲ 0.15	0.16	▲ 0.18	▲ 0.27	0.03	▲ 0.21	0.05	▲ 0.18	▲ 0.03	0.33	▲ 0.22	◢ *0.56*	▲ 0.10	▲ 0.51
	(4)健康増進に向けた情報提供や活動の機会	0.12	0.33	0.15	0.05	0.16	▲ 0.03	0.25	0.18	0.20	0.38	0.22	◢ *0.24*	0.22	▲ 0.23
	(5)市内の医療機関の充足状況	0.27	0.42	0.30	0.16	0.51	0.01	0.54	0.26	◢ *0.05*	0.41	0.45	0.20	0.26	0.04
	(6)高齢者に対する福祉サービス	▲ 0.05	0.00	▲ 0.02	0.09	▲ 0.02	0.05	0.07	0.08	▲ 0.31	0.04	0.21	◢ *0.42*	▲ 0.16	▲ 0.33
	(7)障がい者に対する福祉サービス	▲ 0.07	0.26	▲ 0.20	◢ *0.50*	0.02	▲ 0.06	0.13	0.00	▲ 0.24	0.16	0.04	▲ 0.18	▲ 0.06	▲ 0.45
	(8)介護保険事業や介護予防	▲ 0.25	0.05	▲ 0.35	◢ *0.57*	▲ 0.24	▲ 0.29	▲ 0.19	▲ 0.05	▲ 0.44	▲ 0.08	▲ 0.09	▲ 0.46	▲ 0.24	▲ 0.57
	(9)障がい者と健常者が社会生活をともにする社会の実現	▲ 0.37	▲ 0.14	▲ 0.52	▲ 0.38	▲ 0.23	▲ 0.46	◢ *0.82*	▲ 0.10	▲ 0.40	0.00	▲ 0.69	▲ 0.58	▲ 0.29	▲ 0.49
	(10)地域で支えあう福祉体制	▲ 0.41	▲ 0.05	▲ 0.45	▲ 0.44	▲ 0.24	▲ 0.60	▲ 0.37	▲ 0.18	▲ 0.39	▲ 0.16	▲ 0.49	◢ *0.79*	▲ 0.58	▲ 0.67
6	(1)職員の市民への対応	▲ 0.02	0.30	◢ *0.46*	▲ 0.04	0.12	▲ 0.23	▲ 0.03	0.03	0.21	0.50	▲ 0.01	▲ 0.20	0.05	▲ 0.09
	(2)財政運営の状況	▲ 0.55	▲ 0.15	◢ *0.80*	▲ 0.47	▲ 0.39	▲ 0.72	▲ 0.55	▲ 0.52	▲ 0.67	0.11	▲ 0.40	▲ 0.56	▲ 0.80	▲ 0.71
	(3)情報化社会への対応	▲ 0.21	▲ 0.13	▲ 0.32	▲ 0.11	▲ 0.12	▲ 0.50	0.11	0.05	▲ 0.16	0.43	0.05	▲ 0.43	▲ 0.53	◢ *0.55*
	(4)市民への広報活動(情報提供)	0.10	0.44	▲ 0.05	0.21	0.12	▲ 0.04	0.09	0.30	▲ 0.03	0.30	0.26	◢ *0.13*	0.04	▲ 0.13
	(5)市民参加の機会	▲ 0.05	0.25	▲ 0.10	▲ 0.24	▲ 0.03	▲ 0.12	0.03	0.06	0.00	0.12	0.11	◢ *0.51*	▲ 0.09	▲ 0.31
	(6)地域と連携協力した防犯活動などの取り組み	▲ 0.15	0.02	▲ 0.26	▲ 0.18	▲ 0.04	▲ 0.21	0.18	▲ 0.13	▲ 0.21	0.04	0.00	◢ *0.39*	▲ 0.36	▲ 0.23
	(7)計画的な事業の実施や行政改革の状況	▲ 0.36	▲ 0.03	▲ 0.50	▲ 0.21	▲ 0.32	▲ 0.39	▲ 0.17	▲ 0.46	▲ 0.19	0.18	▲ 0.27	◢ *0.69*	▲ 0.64	▲ 0.53
評価がプラスの項目(全50項目中)		18	26	13	16	20	11	24	22	23	32	27	11	18	14
全体よりも評価が低い項目(全50項目中)			6	27	17	15	36	11	26	18	6	8	29	26	34
最も評価の高い項目数(全50項目中)			8	0	4	1	0	8	0	3	22	3	0	1	0
最も評価の低い項目数(全50項目中)			0	8	10	0	4	2	2	1	1	0	15	2	5

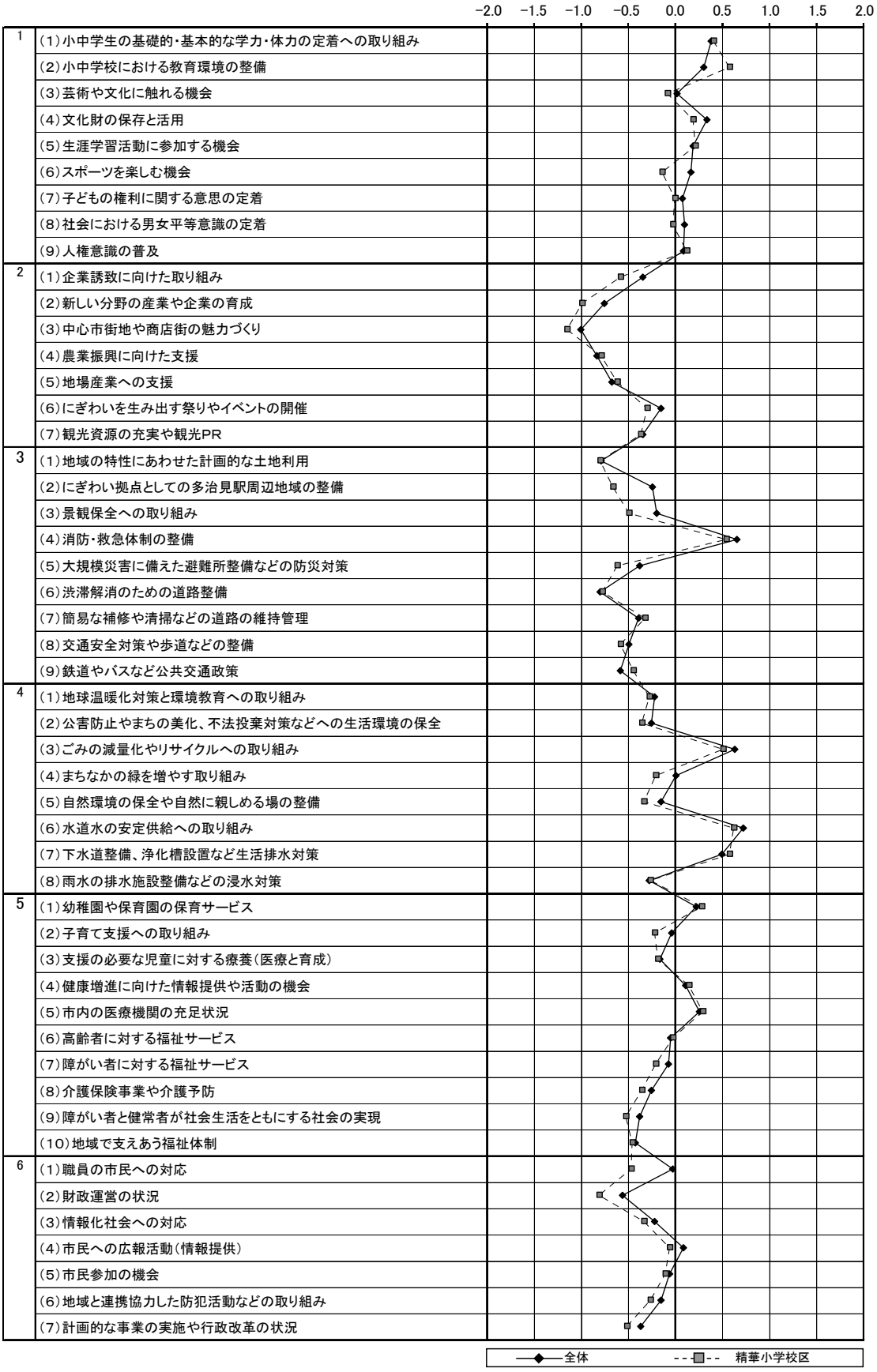
▲ :マイナス　　下線 :各項目で最も評価の高いもの
:全体よりも評価の低いもの　　*斜体* :各項目で最も評価の低いもの

図３－１－２「市政への満足度」（養正小学校区）



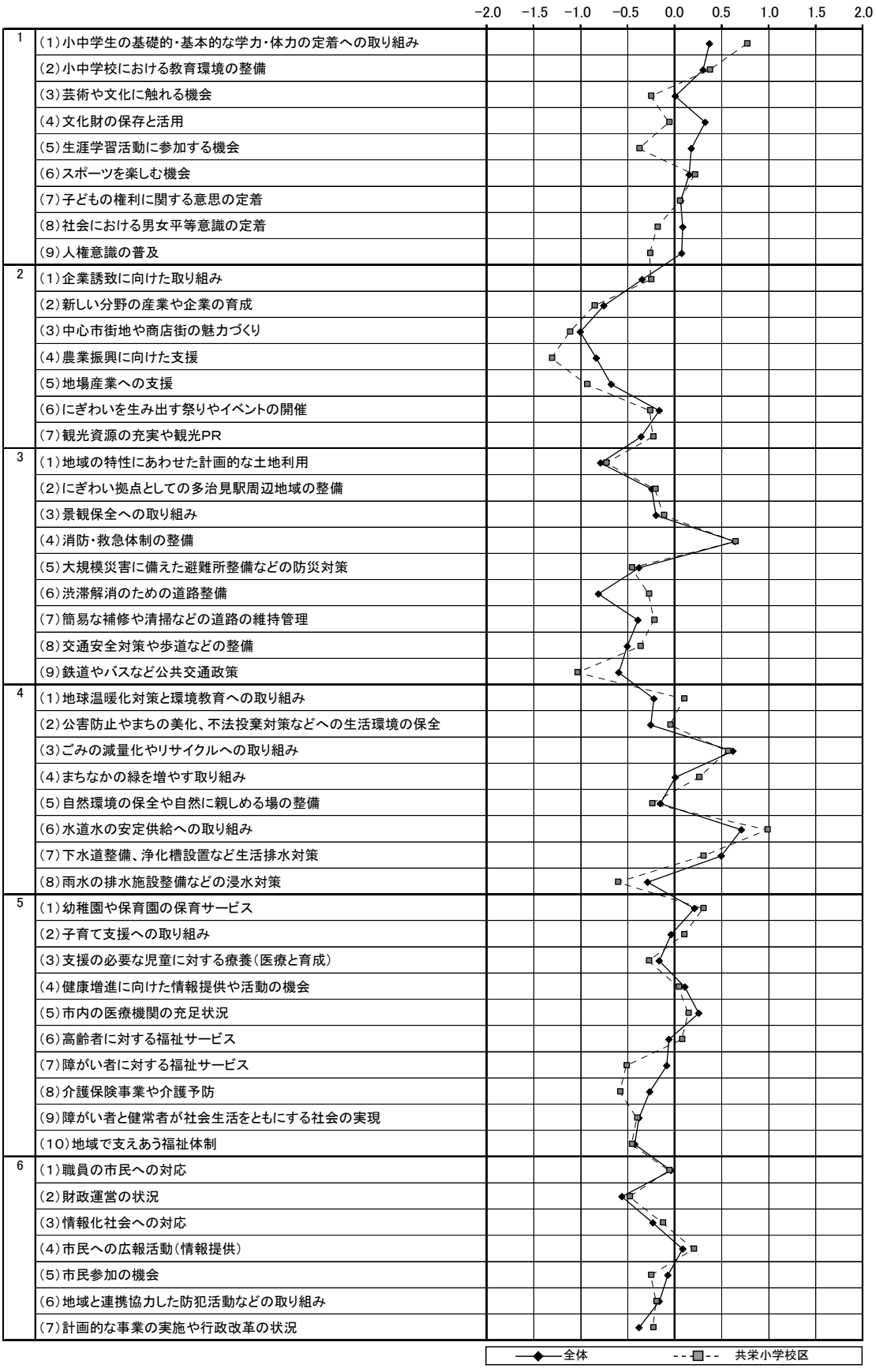
※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

図３－１－３「市政への満足度」（精華小学校区）



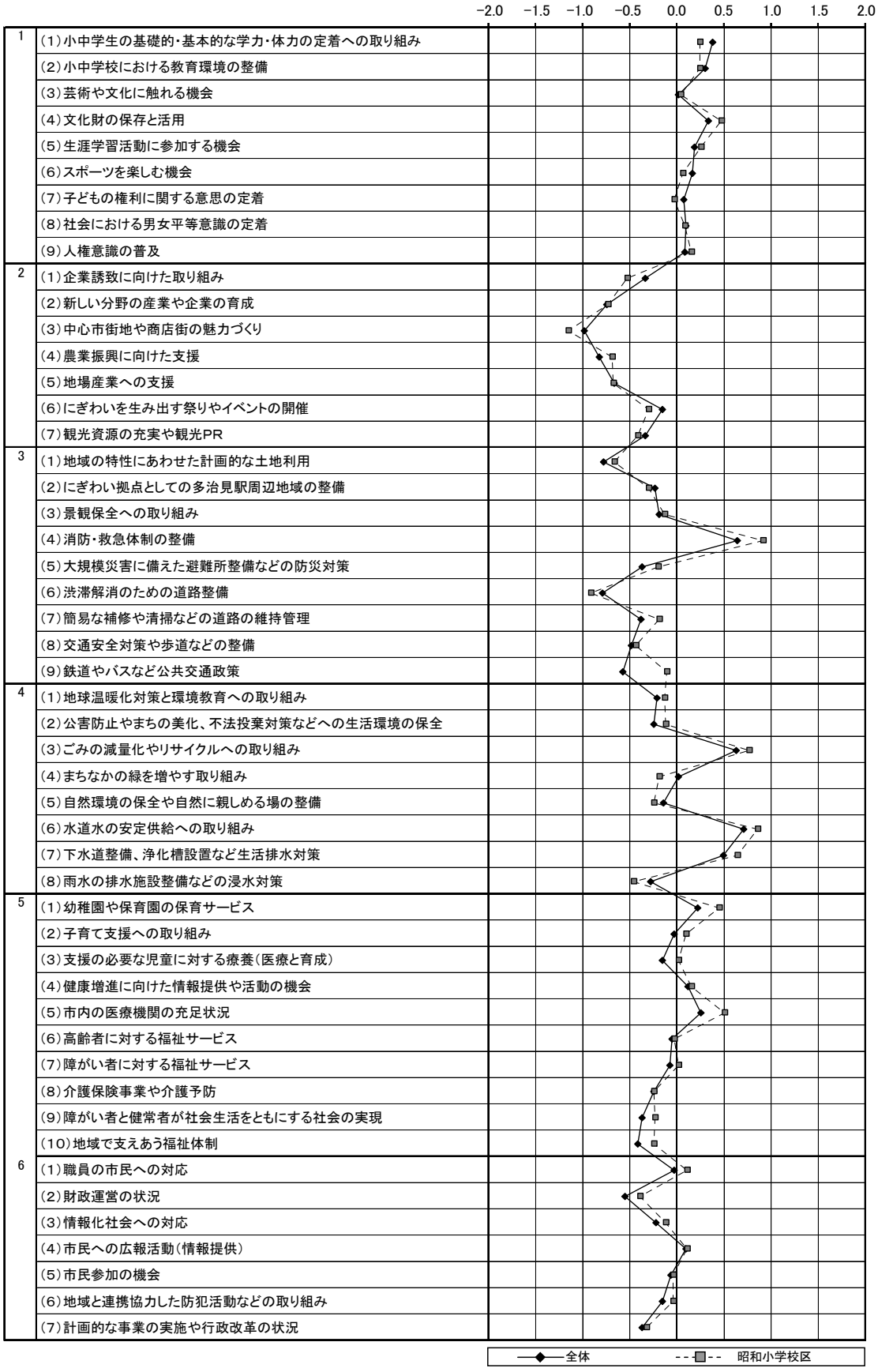
※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

図３－１－４「市政への満足度」（共栄小学校区）



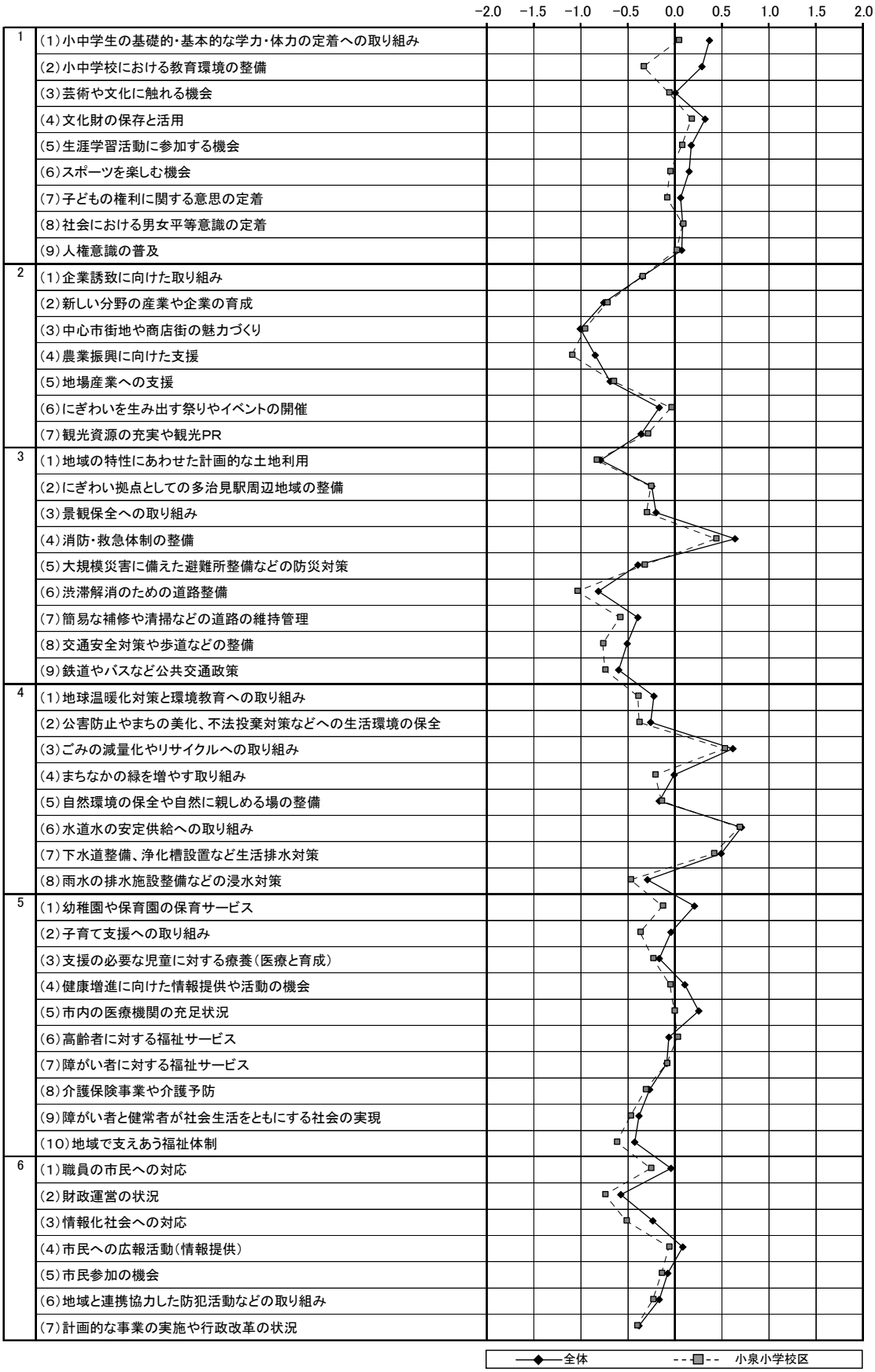
※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

図３－１－５「市政への満足度」（昭和小学校区）



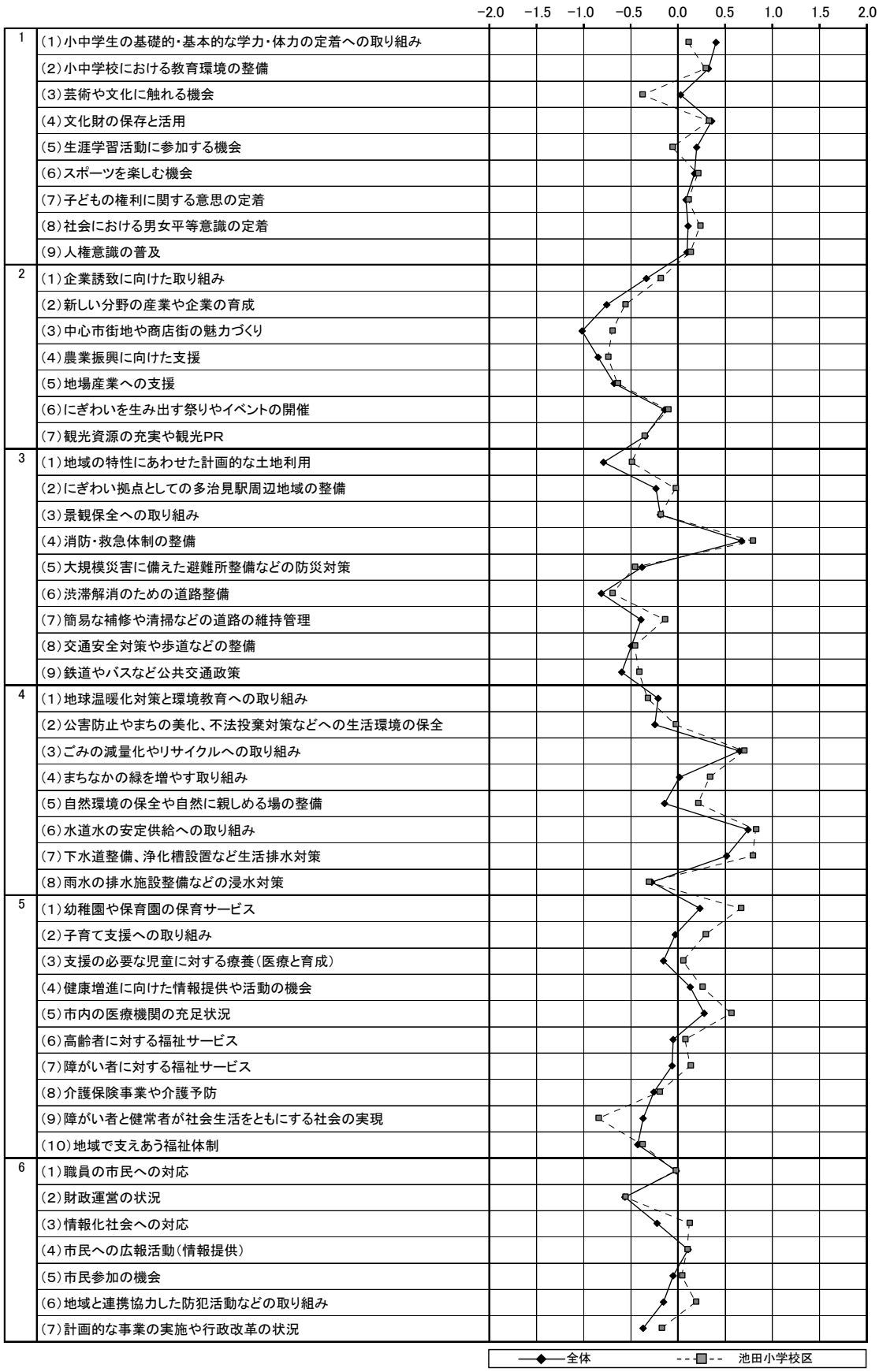
※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

図３－１－６「市政への満足度」（小泉小学校区）



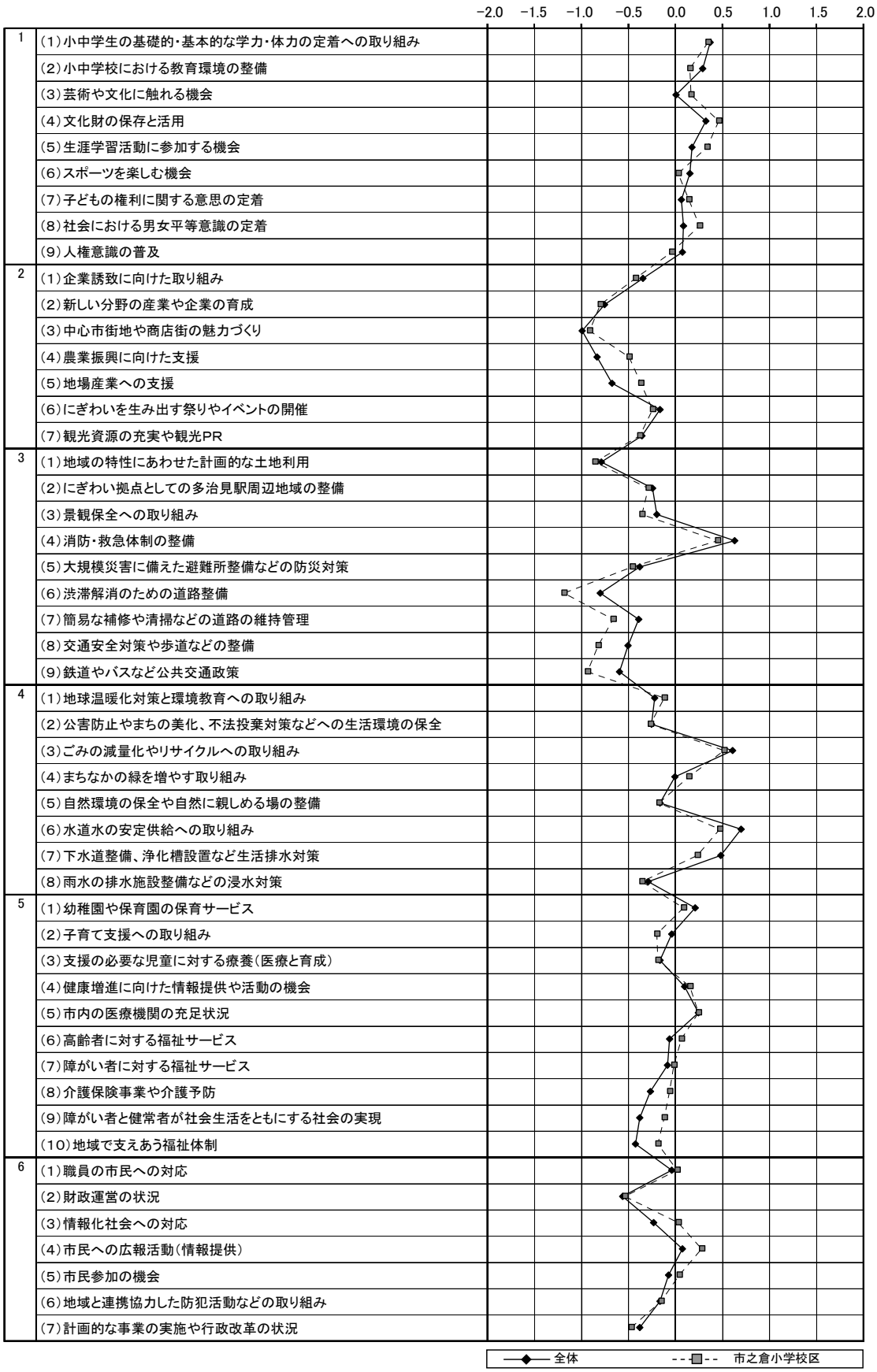
※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

図３－１－７「市政への満足度」（池田小学校区）



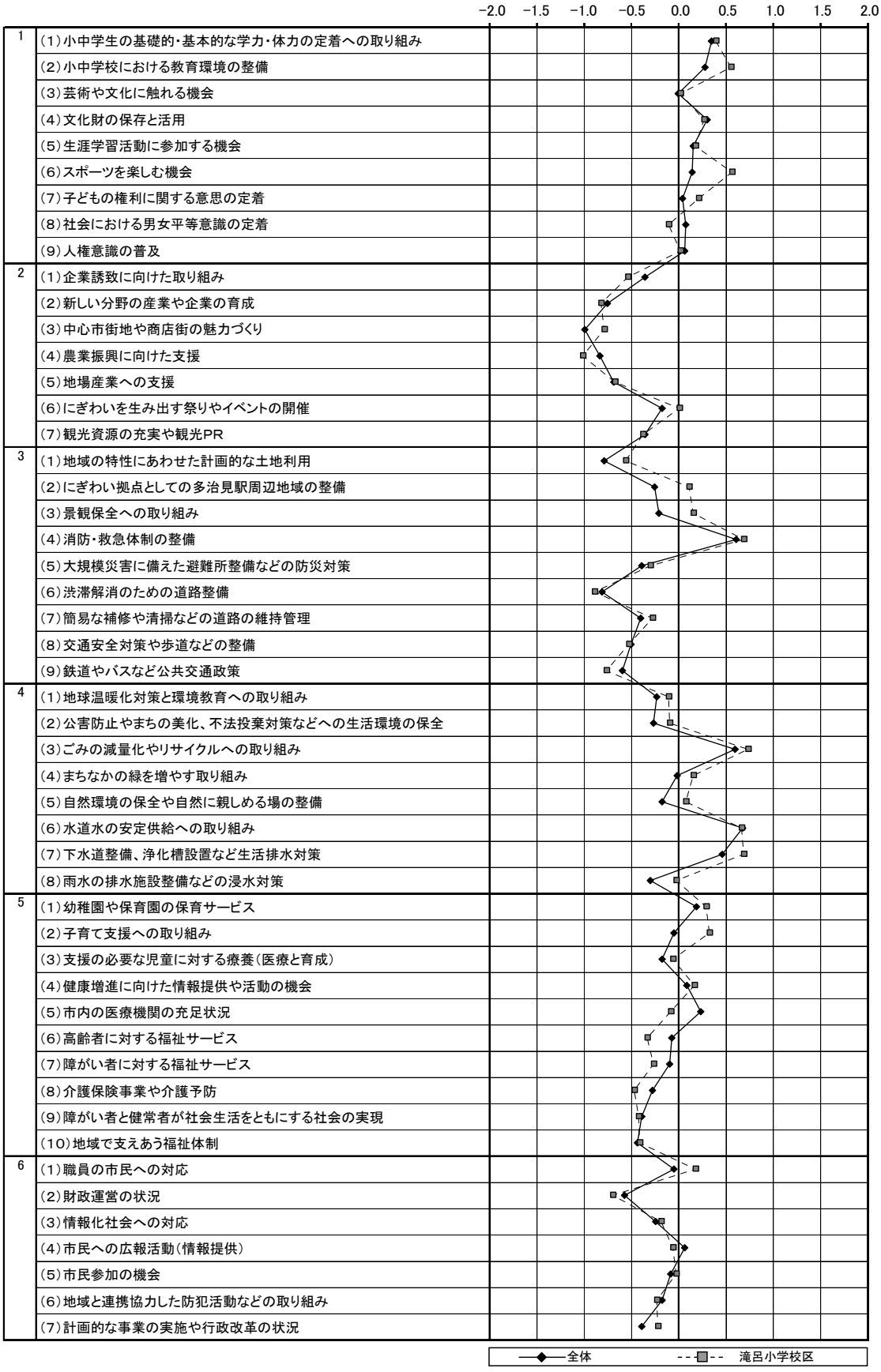
※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

図３－１－８「市政への満足度」（市之倉小学校区）



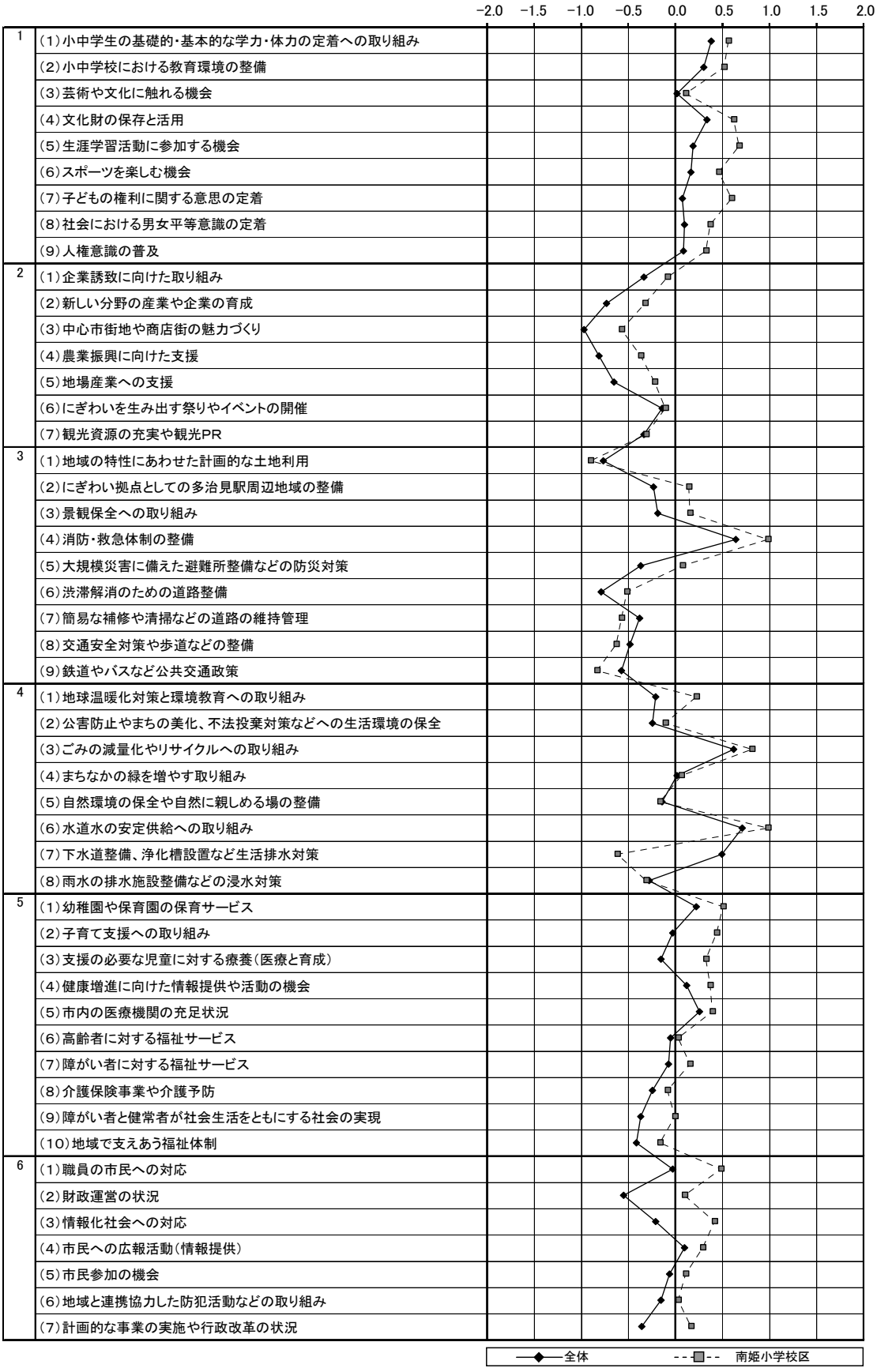
※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

図３－１－９「市政への満足度」（滝呂小学校区）



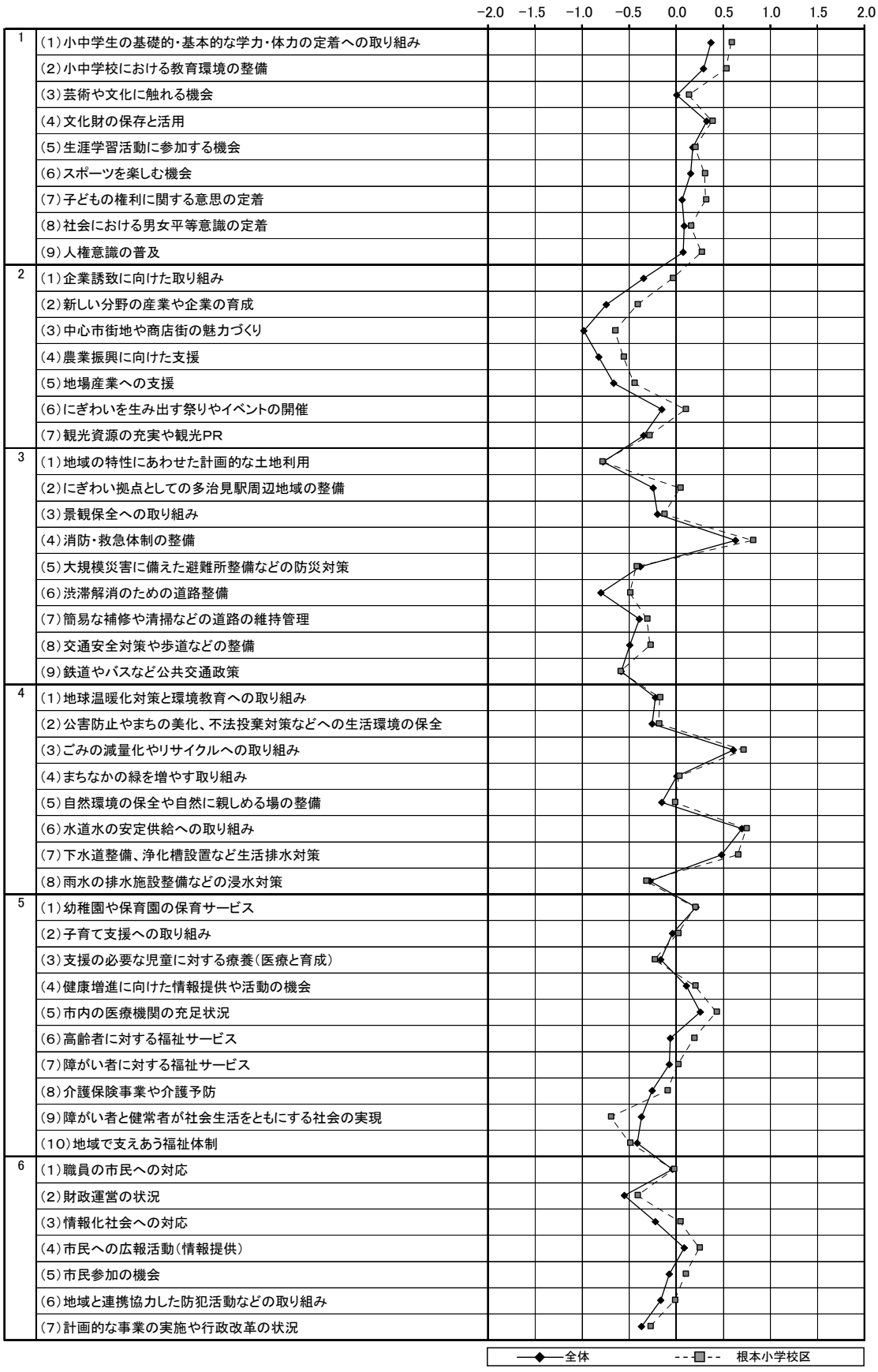
※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

図３－１－１０「市政への満足度」（南姫小学校区）



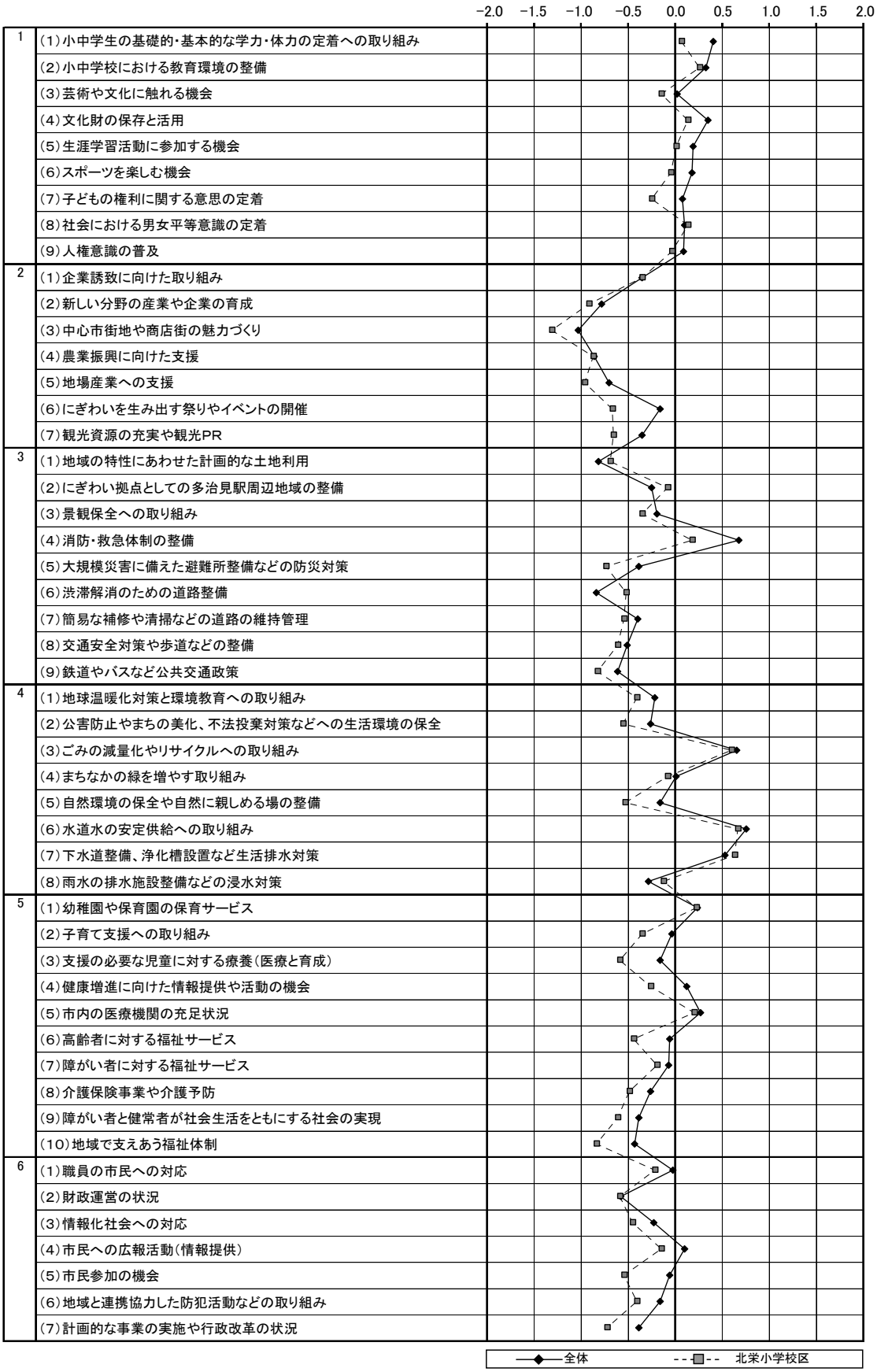
※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

図３－１－１１「市政への満足度」（根本小学校区）



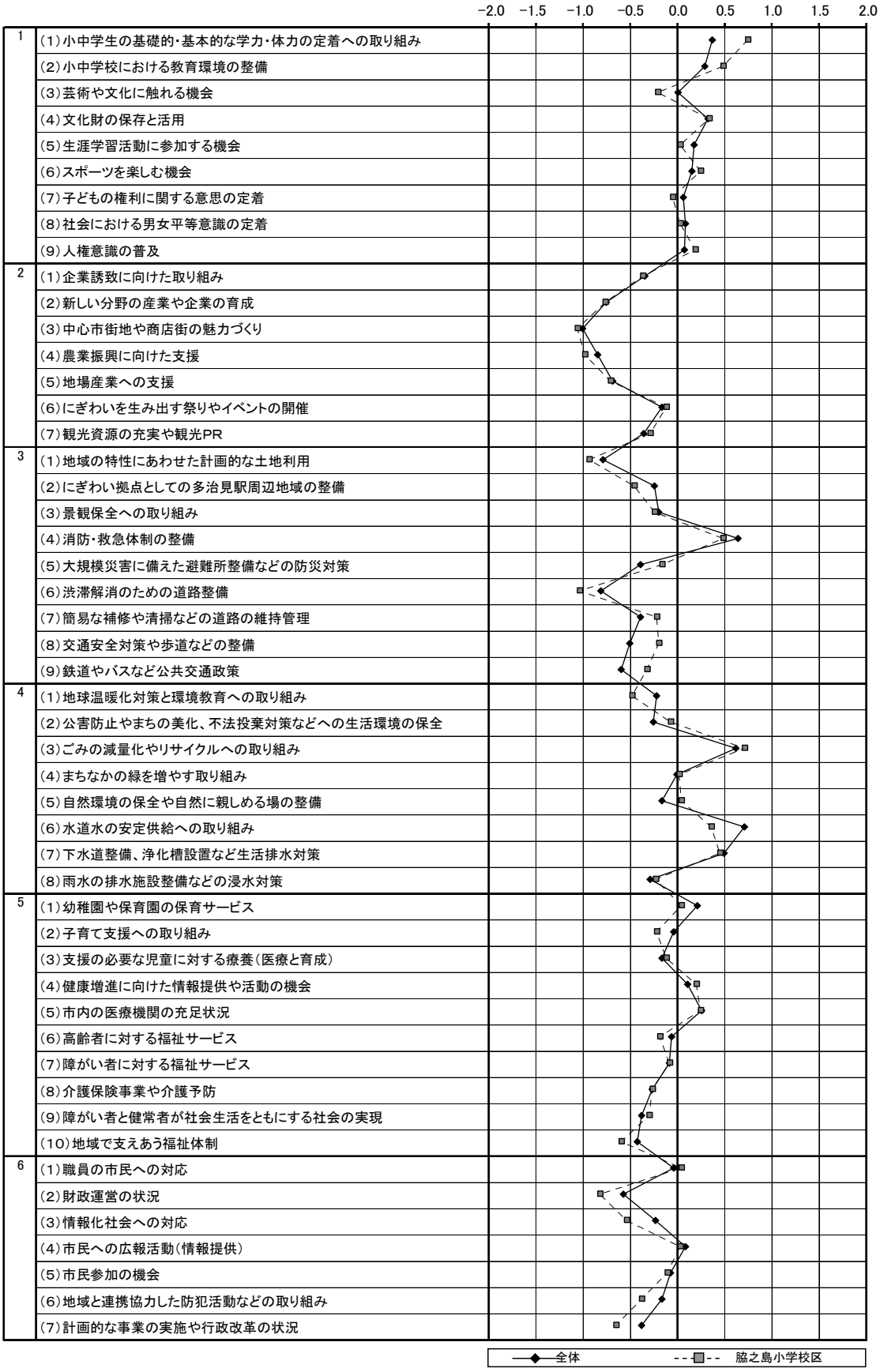
※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

図３－１－１２「市政への満足度」（北栄小学校区）



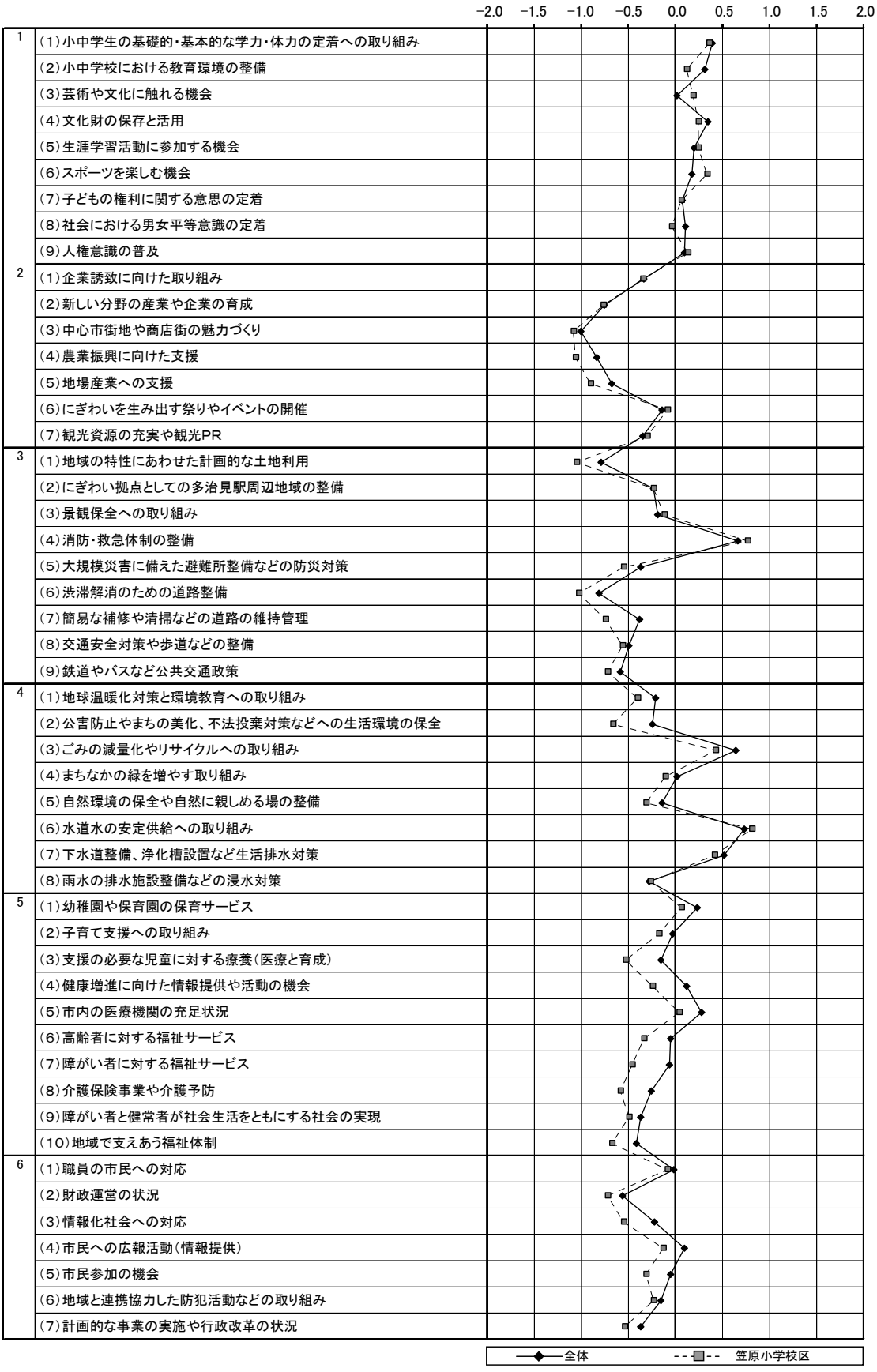
※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

図３－１－１３「市政への満足度」（脇之島小学校区）



※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

図３－１－１４「市政への満足度」（笠原小学校区）



※集計の際、「満足」２点、「やや満足」１点、「やや不満」－１点、「不満」－２点として計算した。

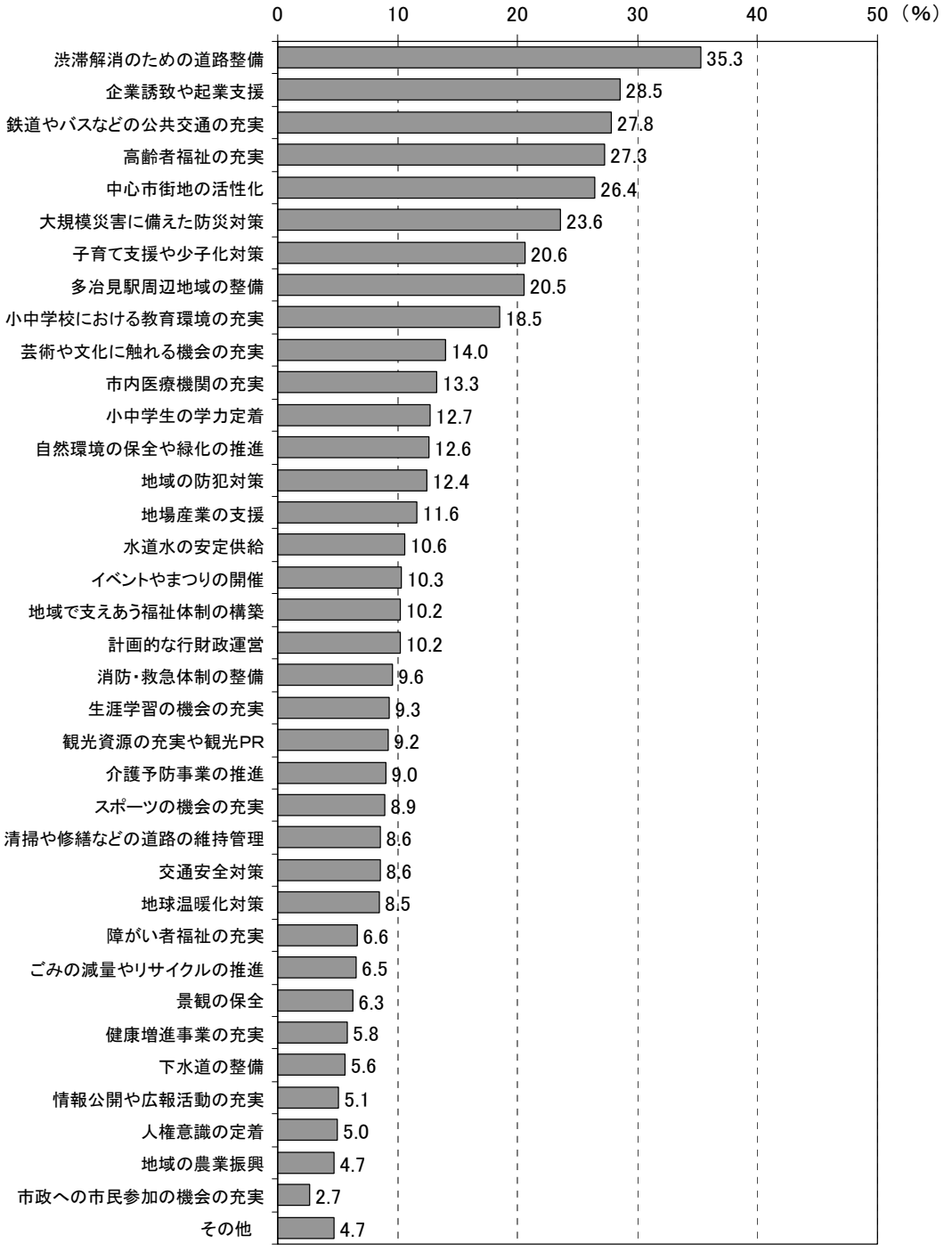
３－２　市の重点施策

「今後力を入れてほしい施策」は、37 項目中「渋滞解消のための道路整備」（35.3%）が最も高く、次いで「企業誘致や起業支援」（28.5%）、「鉄道やバスなど公共交通の充実」（27.8%）、「高齢者福祉の充実」（27.3%）、「中心市街地の活性化」（26.4%）となっている。

一方、5%に満たない項目は「地域の農業振興」（4.7%）、「市政への市民参加の機会の充実」（2.7%）の２項目である。

その他として、「医療費無料化の対象年齢引き上げ」、「大型商業施設（モール）や映画館の誘致」、「都市ガスの整備」、「水道料金の値下げ」などがあった。

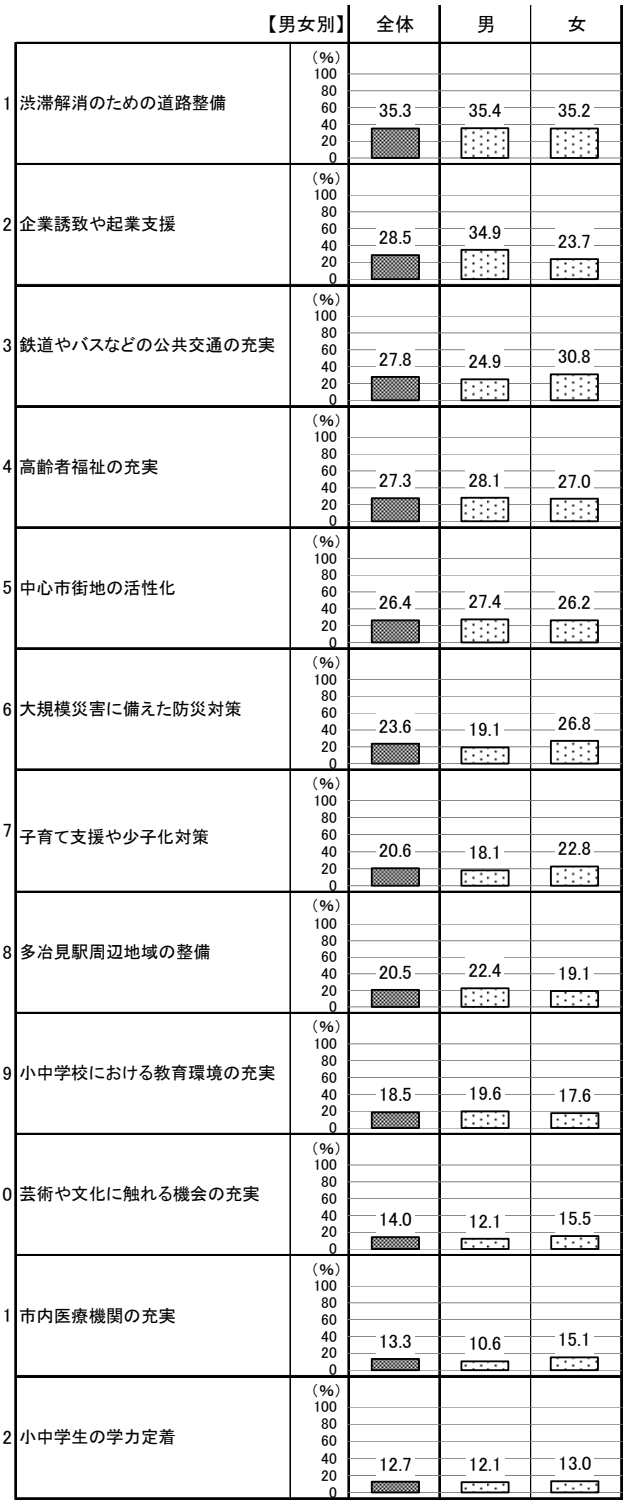
図３－２－１「今後力を入れてほしい施策」



「今後力を入れてほしい施策」について上位 12 項目を男女別にみると、「渋滞解消のための道路整備」では男性が 35.4%、女性が 35.2%となっている。「企業誘致や起業支援」では男性が 34.9%、女性が 23.7%と、男性の方が 11.2%高くなっている。

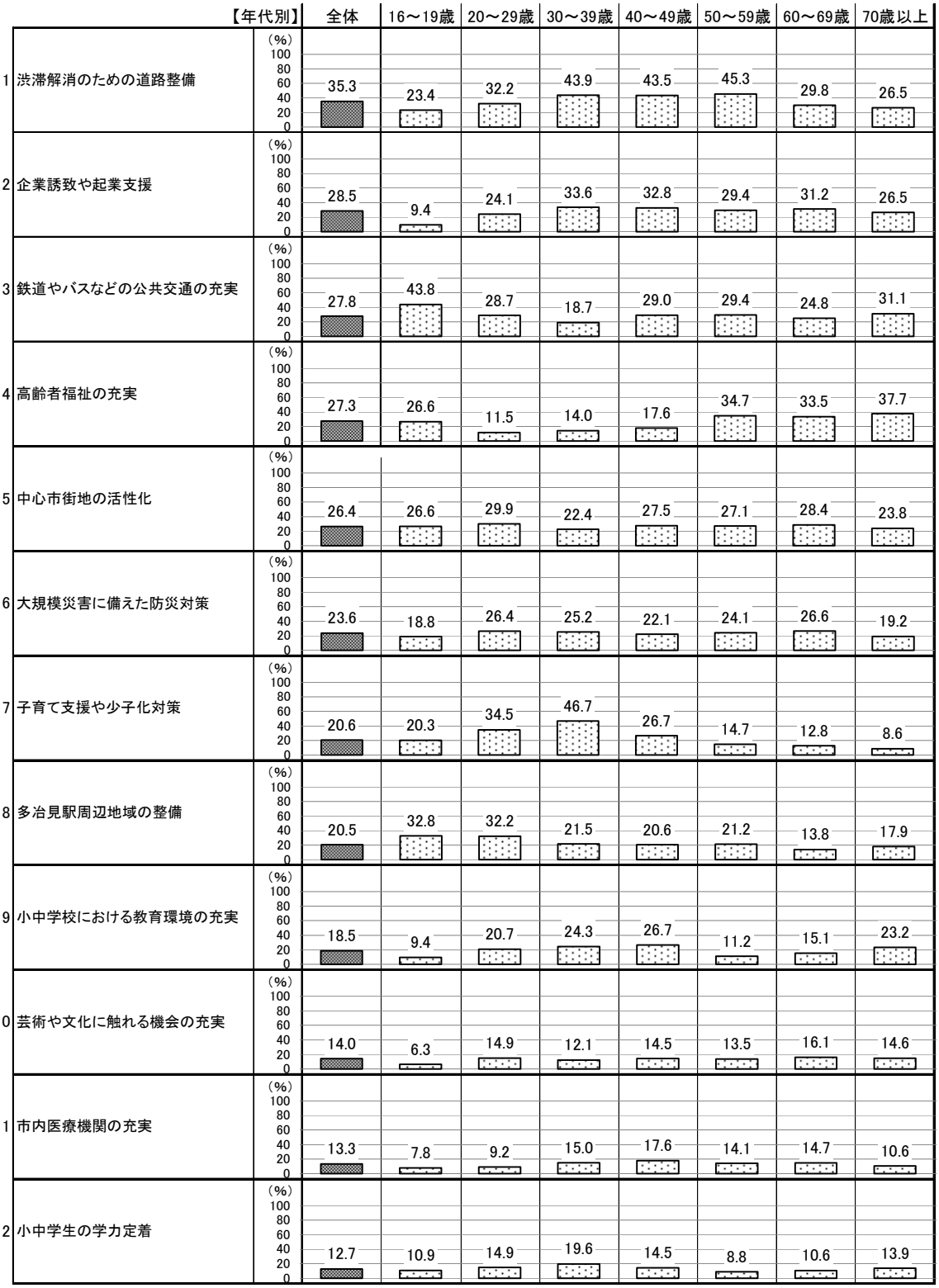
一方、「大規模災害に備えた防災対策」や「鉄道やバスなどの公共交通の充実」では女性の方が高くなっている。

図３－２－２　男女別「今後力を入れてほしい施策」（上位 12 項目）



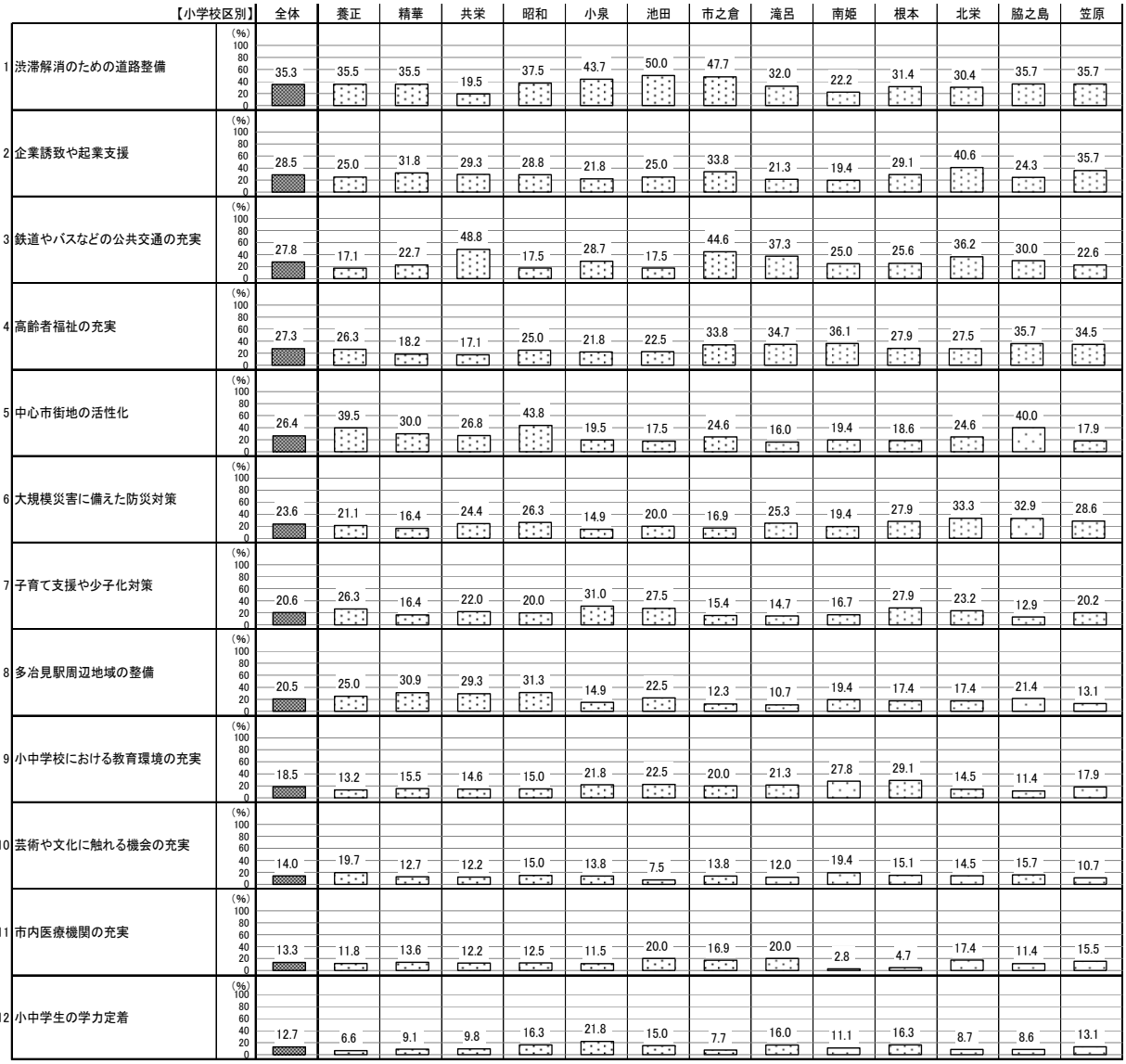
「今後力を入れてほしい施策」について上位 12 項目を年代別にみると、「16～19 歳」では「鉄道やバスなどの公共交通の充実」(43.8%)、「20～29 歳」「30～39 歳」では「子育て支援や少子化対策」(34.5%、46.7%)、「40～49 歳」「50～59 歳」では「渋滞解消のための道路整備」(43.5%、45.3%)、「60～69 歳」「70 歳以上」では「高齢者福祉の充実」(33.5%、37.7%) がそれぞれ最も高くなっている。

図３－２－３　年代別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



「今後力を入れてほしい施策」について上位 12 項目を小学校区別にみると、「精華」「小泉」「池田」「市之倉」「根本」「笠原」では「渋滞解消のための道路整備」(35.5%、43.7%、50.0%、47.7%、31.4%、35.7%)、「北栄」「笠原」では「企業誘致や起業支援」(40.6%、35.7%)、「共栄」「滝呂」では「鉄道やバスなど公共交通の充実」(48.8%、37.3%)、「南姫」では「高齢者福祉の充実」(36.1%)、「養正」「昭和」「脇之島」では「中心市街地の活性化」(39.5%、43.8%、40.0%) がそれぞれ最も高くなっている。

図３－２－４　小学校区別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



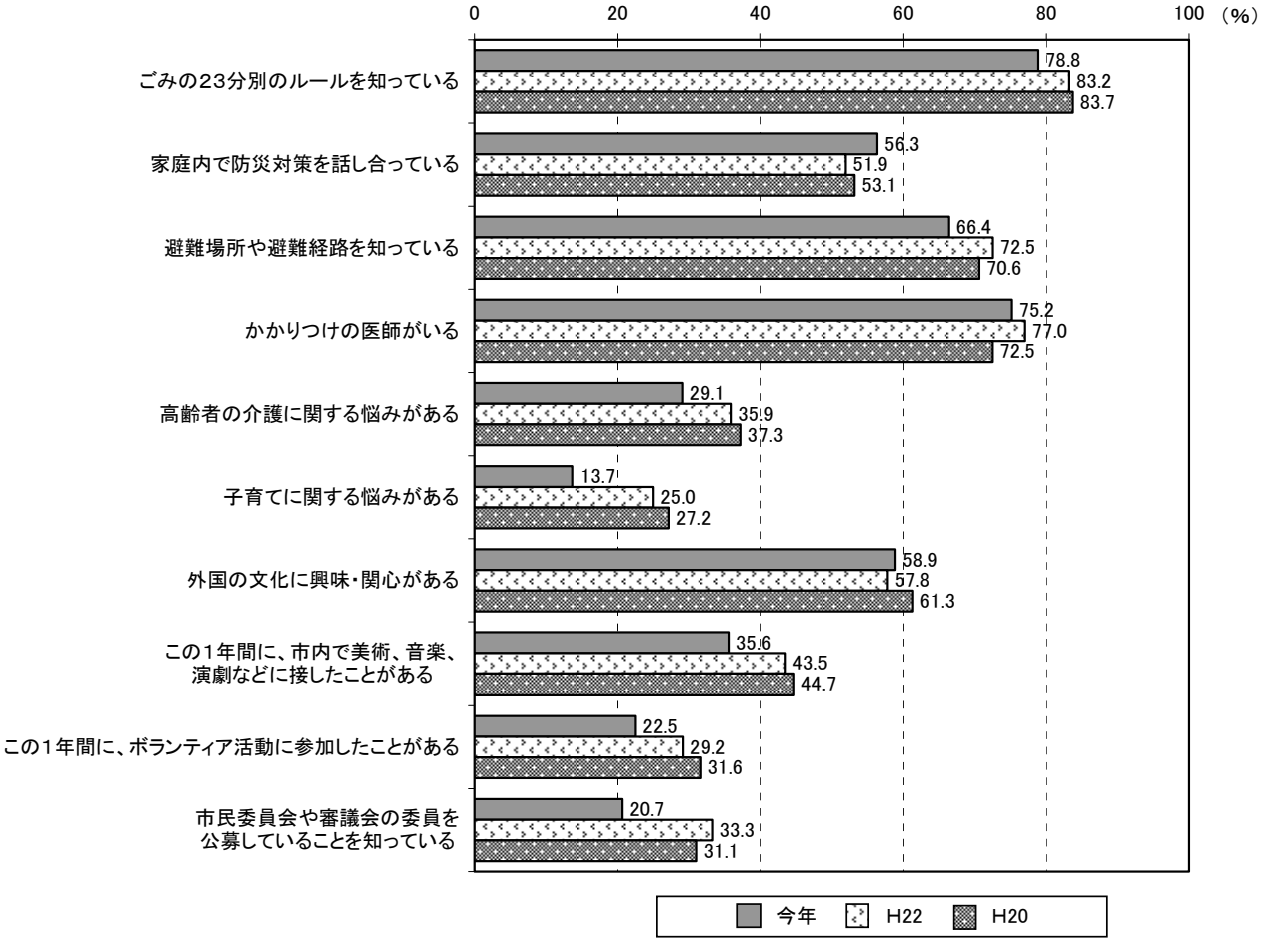
第４章　生活実態及び市民意識

４－１　生活実態及び市民意識

「生活実態及び市民意識」については、「ごみの２３分別のルールを知っている」（78.8%）が最も高く、次いで「かかりつけの医師がいる」（75.2%）、「避難場所や避難経路を知っている」（66.4%）となっている。

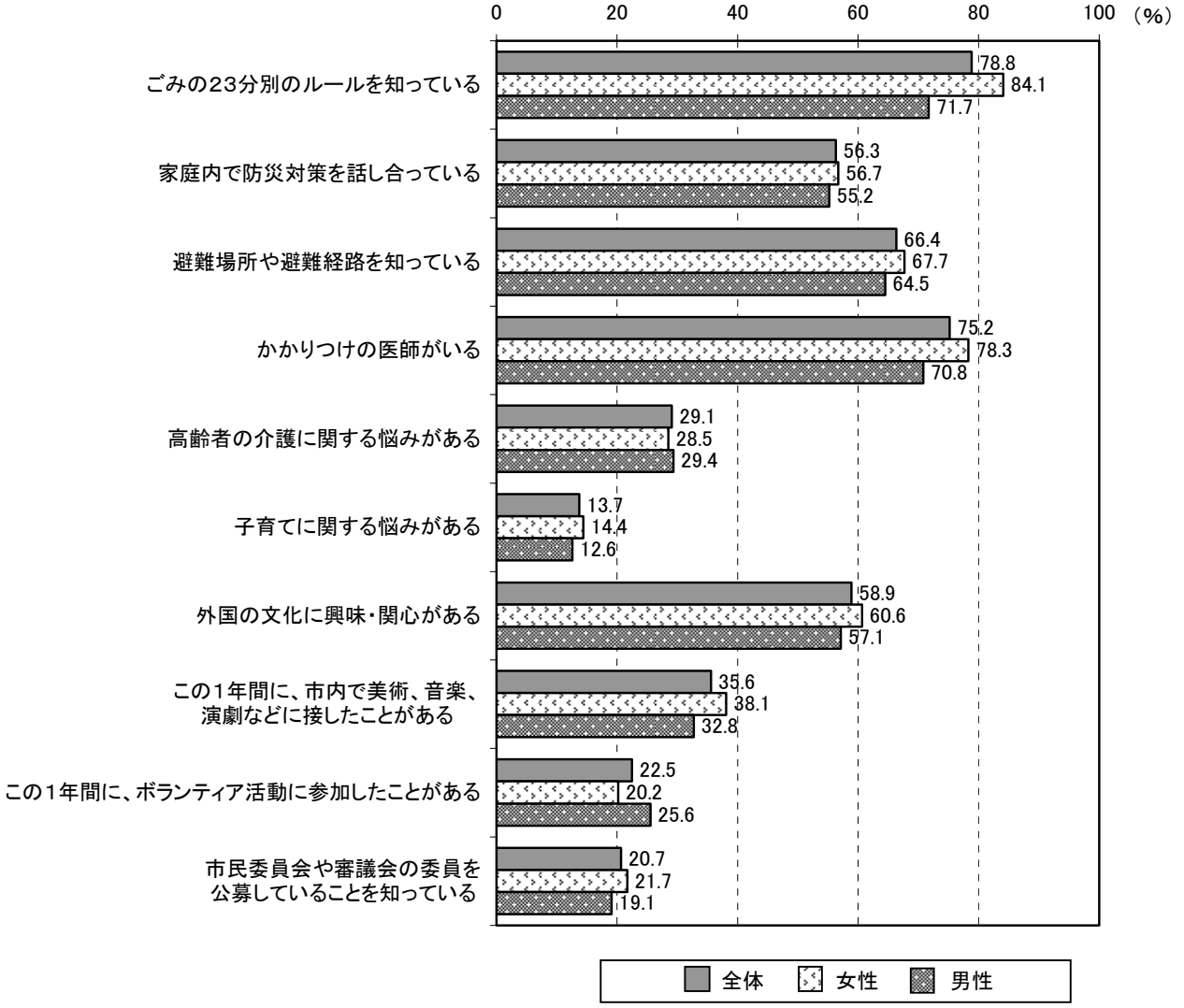
過去調査と比較すると、前回（H22）より減少している項目は７項目あり、中でも「子育てに関する悩みがある」（11.3%）、「市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っている」（12.6%）は多く減少している。

図４－１－１「生活実態及び市民意識」（過去調査比較）



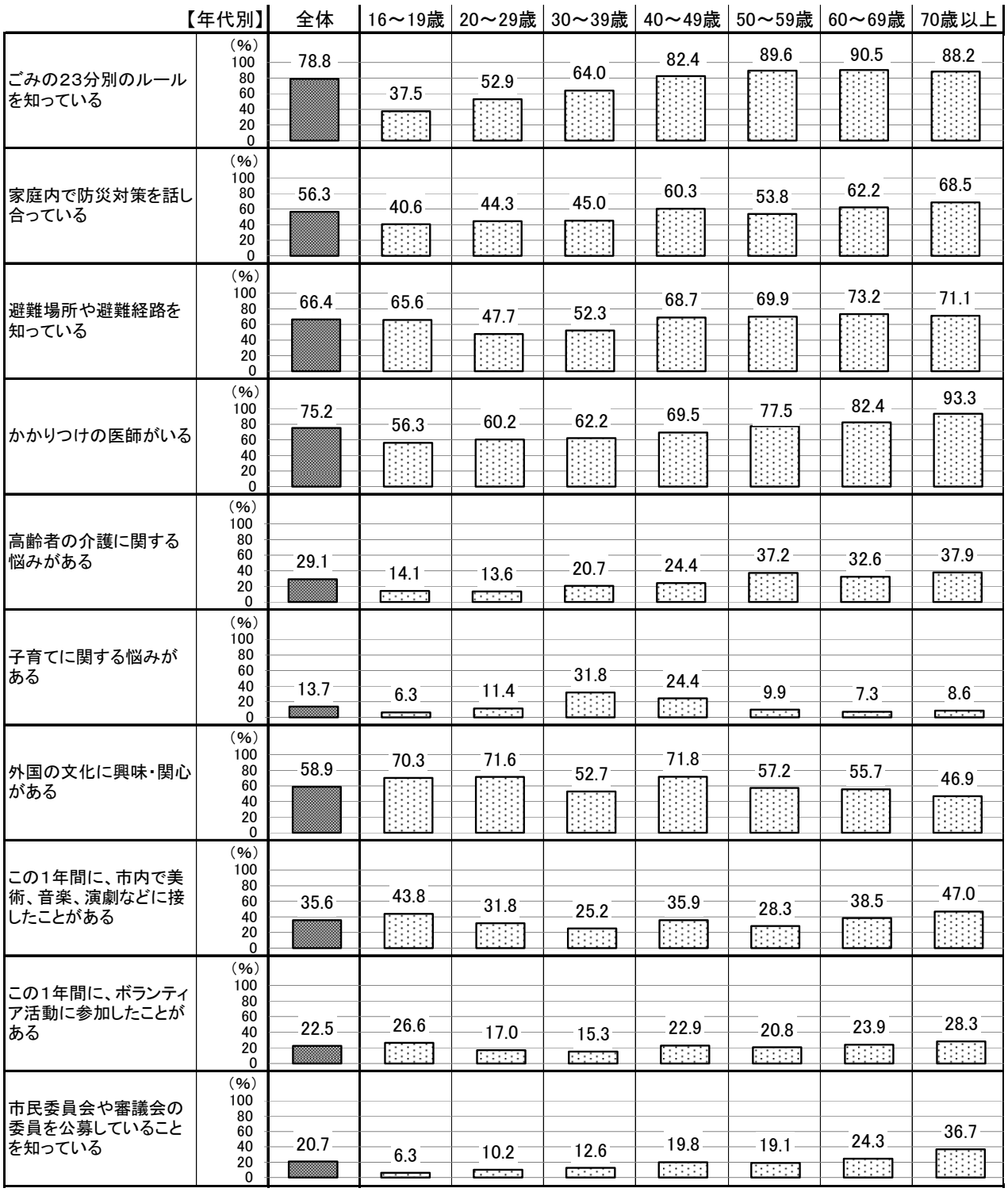
「生活実態及び市民意識」について男女別にみると、「高齢者の介護に関する悩みがある」「ここ１年間に、ボランティア活動に参加したことがある」の２項目以外全てにおいて、男性よりも女性の方が高くなっている。中でも「ごみの２３分別のルールを知っている」（12.4%）、「かかりつけの医師がいる」（7.5%）で高くなっている。

図４－１－２　男女別「生活実態及び市民意識」



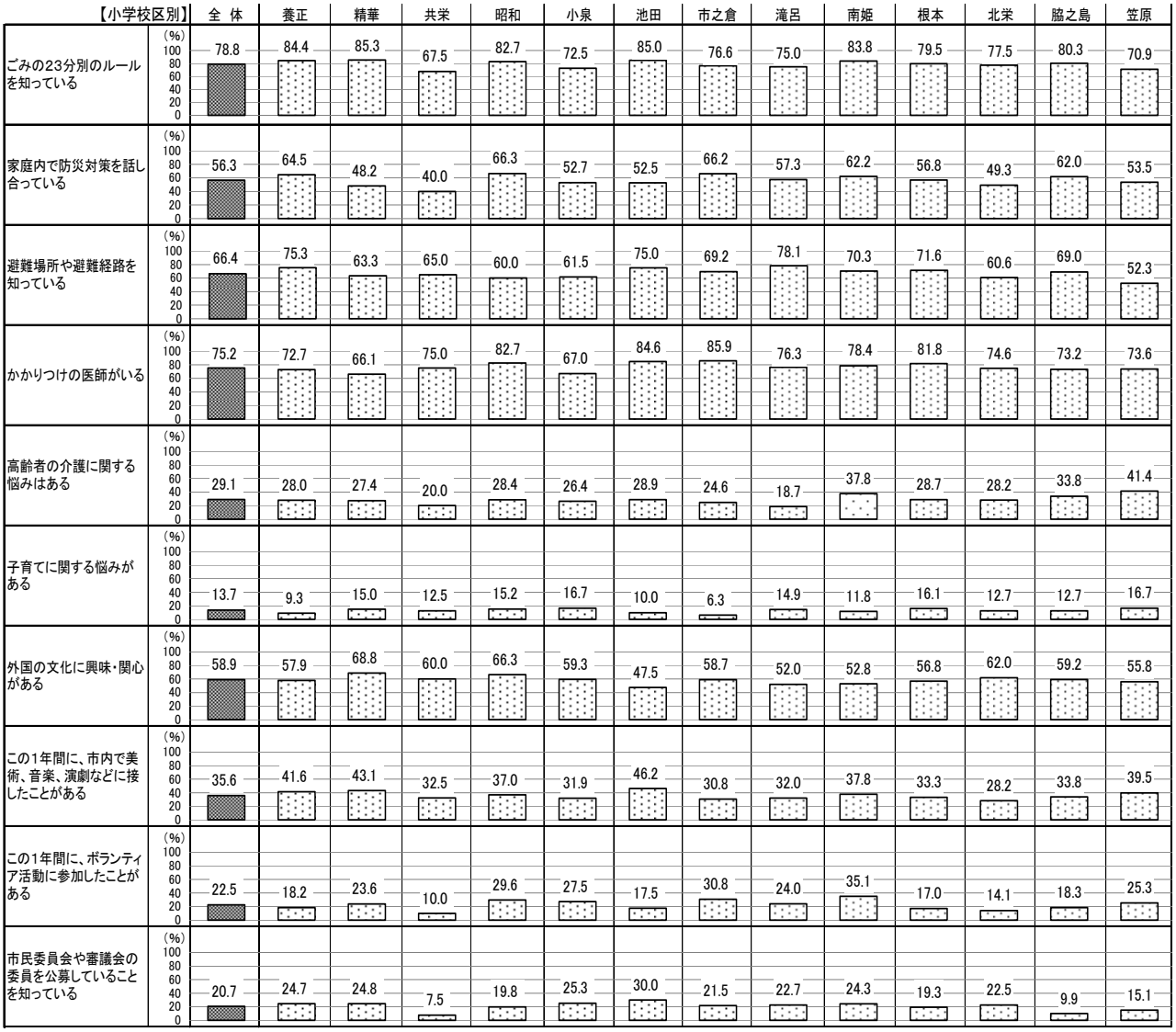
「生活実態及び市民意識」について年代別にみると、「30～39 歳」「40～49 歳」「50～59 歳」「60～69 歳」では「ごみの 23 分別のルールを知っている」（64.0%、82.4%、89.6%、90.5%）、「16～19 歳」「20～29 歳」では「外国の文化に興味・関心がある」（70.3%、71.6%）、「70 歳以上」では「かかりつけの医師がいる」（93.3%）がそれぞれ最も高くなっている。

図４－１－３　年代別「生活実態及び市民意識」



「生活実態及び市民意識」について小学校区別にみると、「養正」「精華」「昭和」「小泉」「池田」「南姫」「北栄」「脇之島」では「ごみの２３分別のルールを知っている」（84.4%、85.3%、82.7%、72.5%、85.0%、83.8%、77.5%、80.3%）、「滝呂」では「避難場所や避難経路を知っている」（78.1%）、「共栄」「昭和」「市之倉」「根本」「笠原」では「かかりつけの医師がいる」（75.0%、82.7%、85.9%、81.8%、73.6%）がそれぞれ最も高くなっている。

図４－１－４　小学校区別「生活実態及び市民意識」



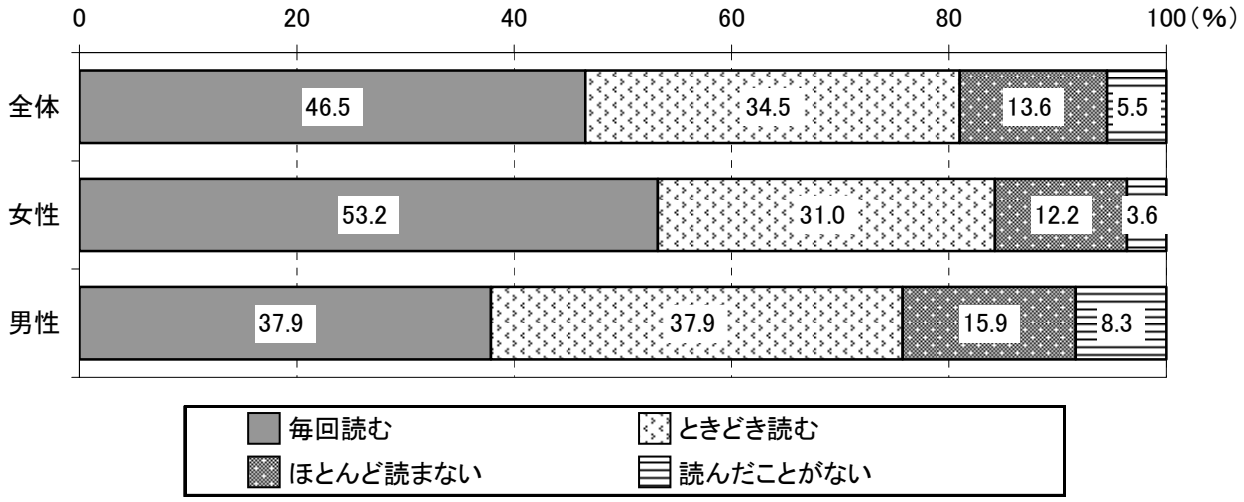
第５章　情報提供について

５－１　広報たじみ【Tajimist（たじみすと)】を読んでいるか

「広報たじみ【Tajimist（たじみすと)】を読んでいるか」については、「毎回読む」(46.5%）が最も高く、次いで「ときどき読む」(34.5%)、「ほとんど読まない」(13.6%)、「読んだことがない」(5.5%)となっている。

男女別でみると、「毎回読む」では女性が 53.2%と高くなっているが、男性は 37.9%と低くなっている。「ときどき読む」では女性が 31.0%、男性が 37.9%となっている。「ほとんど読まない」では女性が 12.2%、男性が 15.9%、「読んだことがない」では女性が 3.6%、男性が 8.3%となっている。

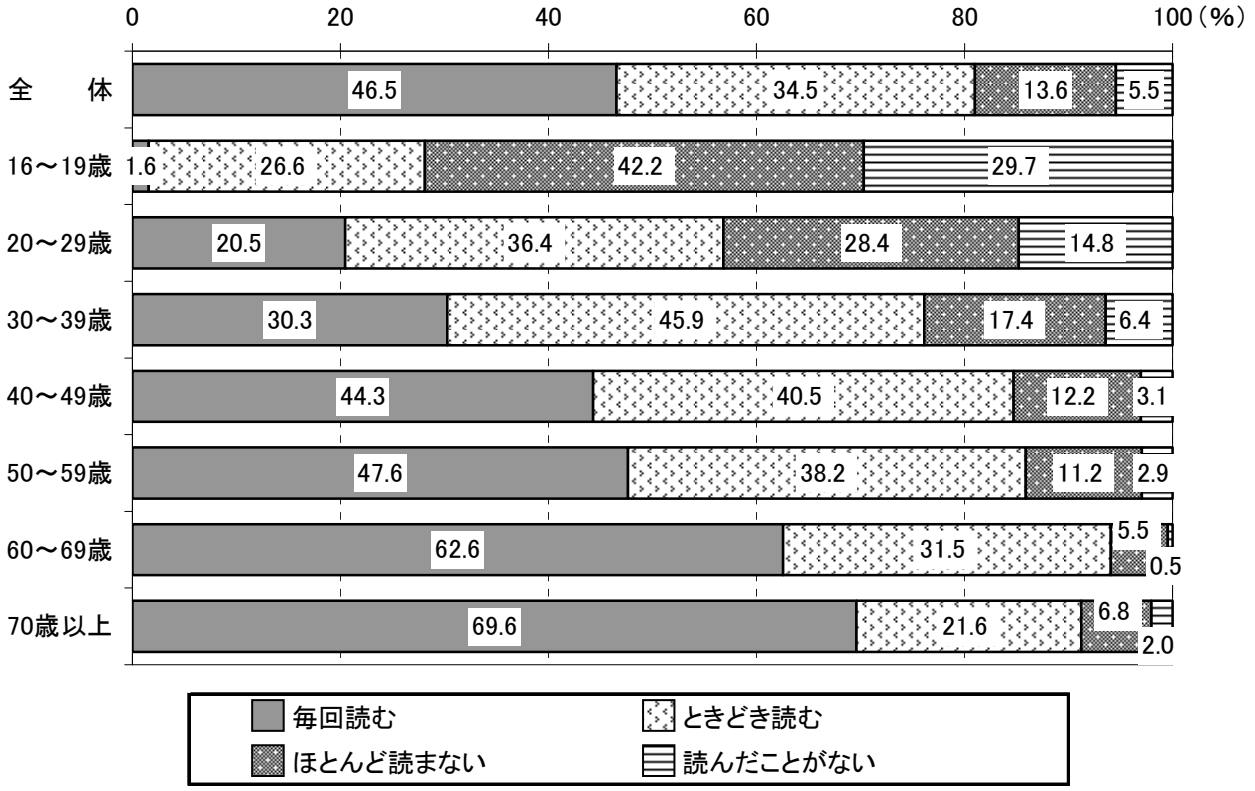
図５－１－１　男女別「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】を読んでいるか」



「広報たじみ【Tajimist（たじみすと)】を読んでいるか」について年代別にみると、「毎回読む」では「70歳以上」(69.6%）が最も高く、「ときどき読む」では「30～39歳」(45.9%)、「ほとんど読まない」「読んだことがない」では「16～19歳」(42.2%、29.7%）がそれぞれ高くなっている。

年代が上がるにつれて、「毎回読む」の割合が高くなっている。

図５－１－２　年代別「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】を読んでいるか」

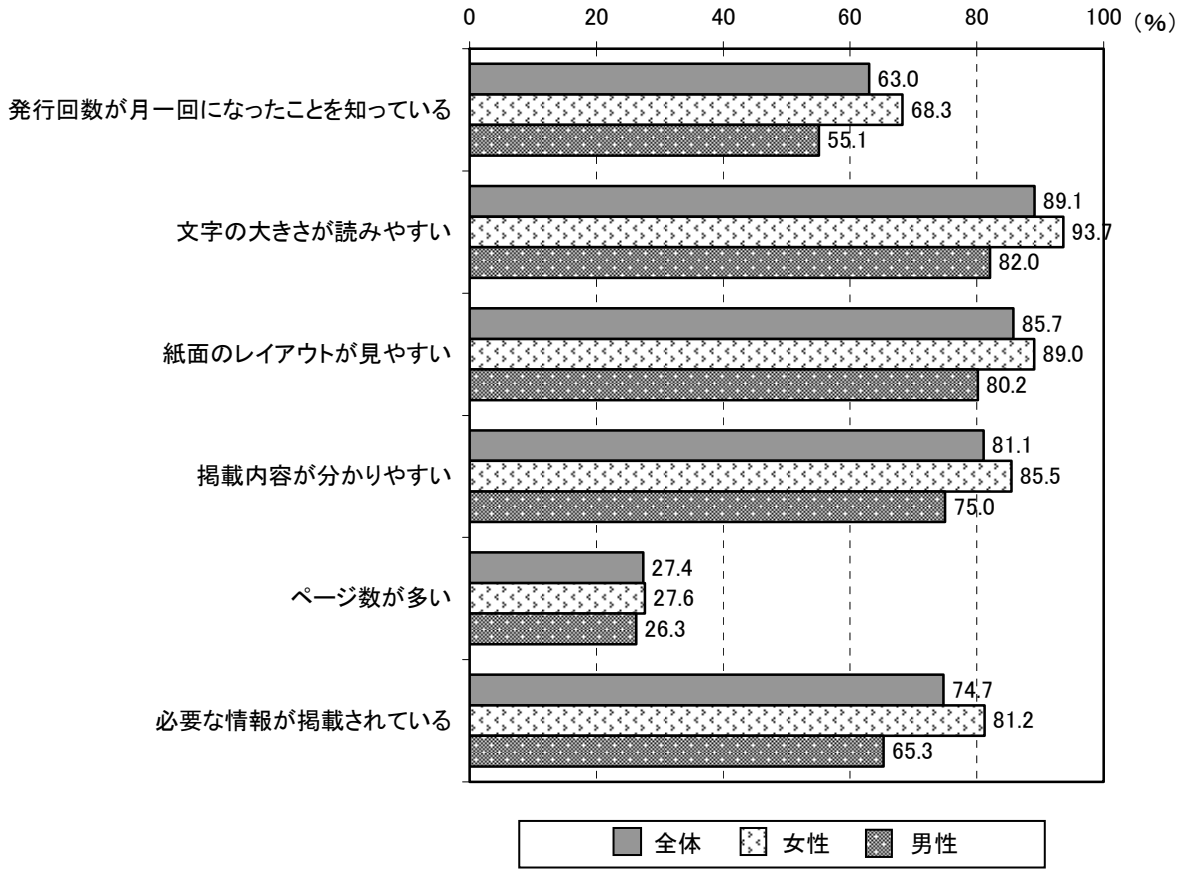


５－２　広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容

「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容」については、「文字の大きさが読みやすい」(89.1%)が最も高く、次いで「紙面のレイアウトが見やすい」(85.7%)、「掲載内容が分かりやすい」(81.1%)となっている。

男女別にみると、「必要な情報が掲載されている」では男女の差が 15.9%、「発行回数が月一回になったことを知っている」では 13.2%と大きくなっている。

図５－２－１　男女別「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容」

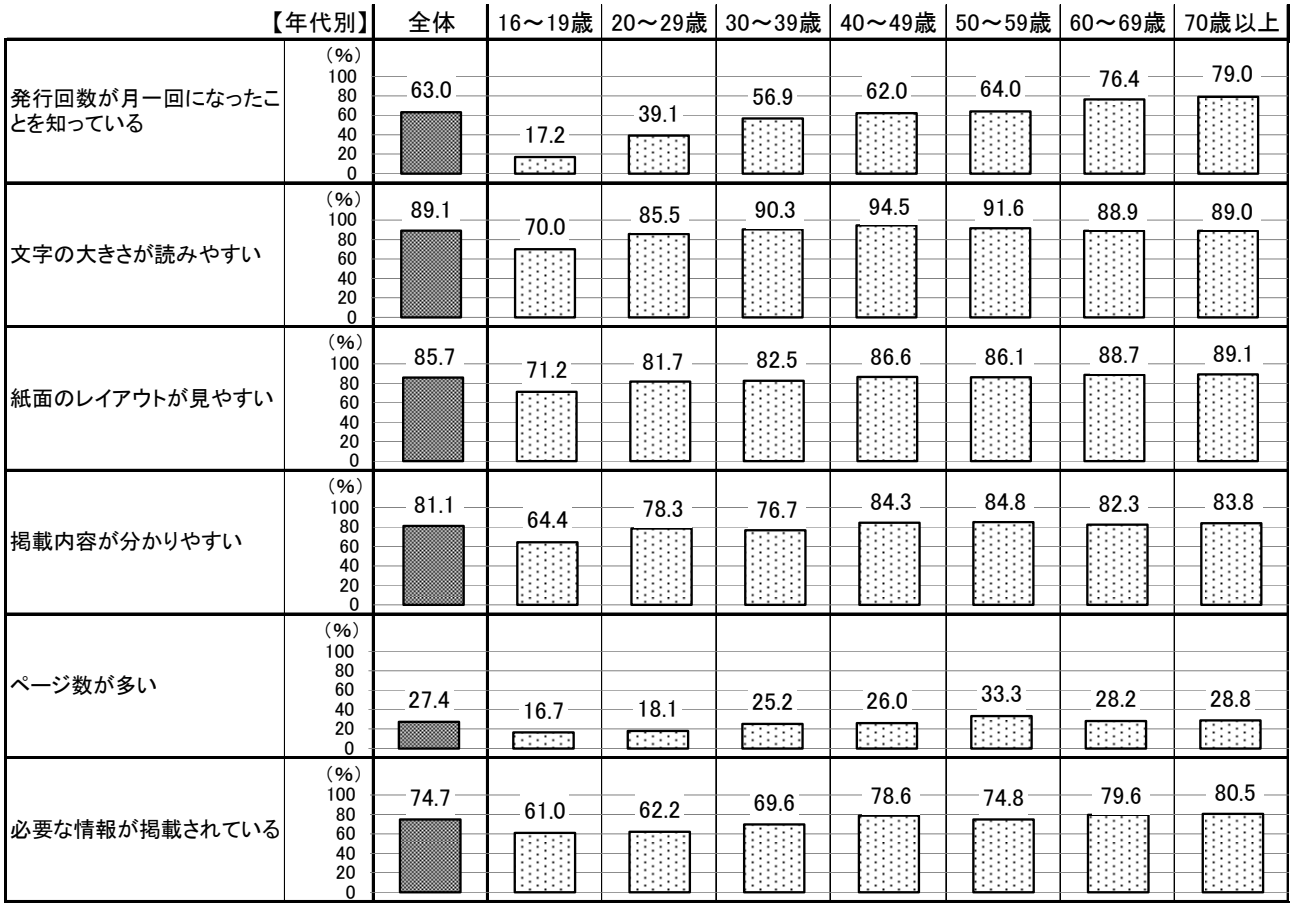


「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容」について年代別にみると、「16～19 歳」「70 歳以上」では「紙面のレイアウトが見やすい」(71.2%、89.1%)、「20～29 歳」「30～39 歳」「40～49 歳」「50～59 歳」「60～69 歳」では「文字の大きさが読みやすい」(85.5%、90.3%、94.5%、91.6%、88.9%)がそれぞれ最も高くなっている。

「発行回数が月一回になったことを知っている」では「70 歳以上」(79.0%)と「16～19 歳」(17.2%)で 61.8%の開きがあり、年代が上がるにつれて“知っている”が高くなっている。

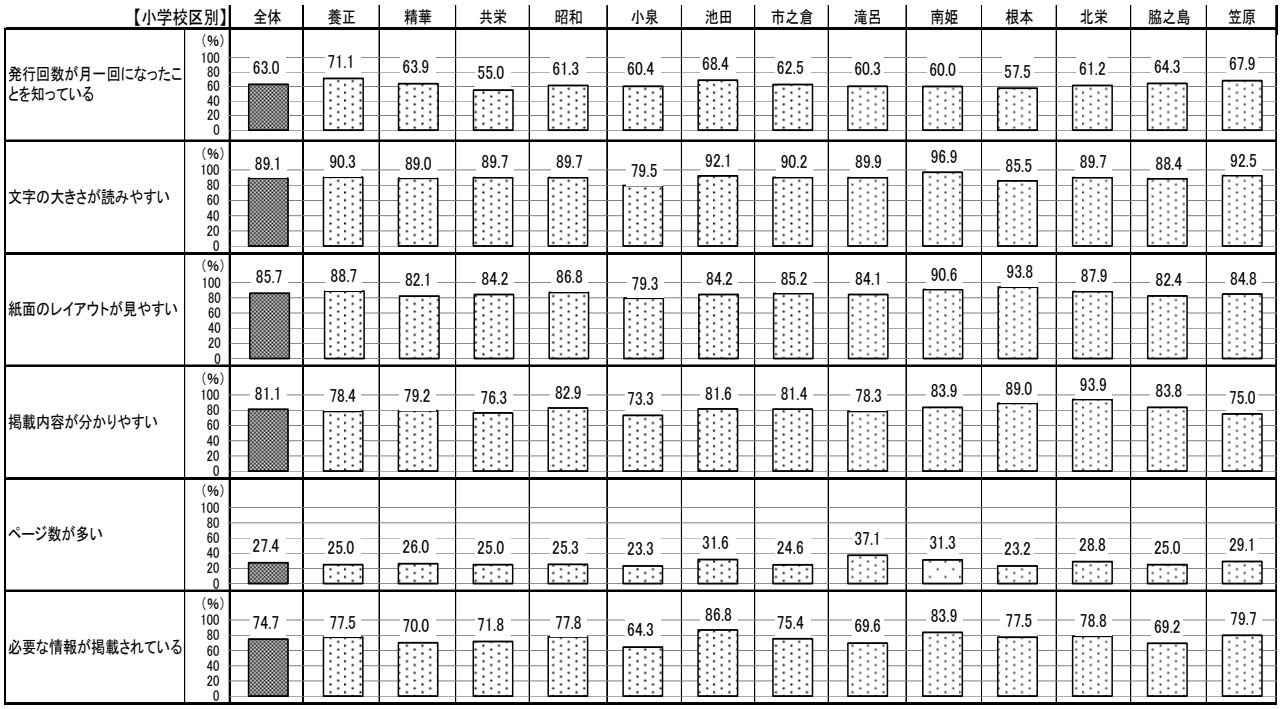
その他の項目についても、同じような傾向があるが、大きな差は見られない。

図５－２－２　年代別「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容」



「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容」について小学校区別にみると、全ての小学校区について大きな差は見られないが、「小泉」「滝呂」「脇之島」では「必要な情報が掲載されている」(64.3%、69.6%、69.2%）が他の小学校区に比べると低くなっている。

図５－２－３　小学校区別「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容」

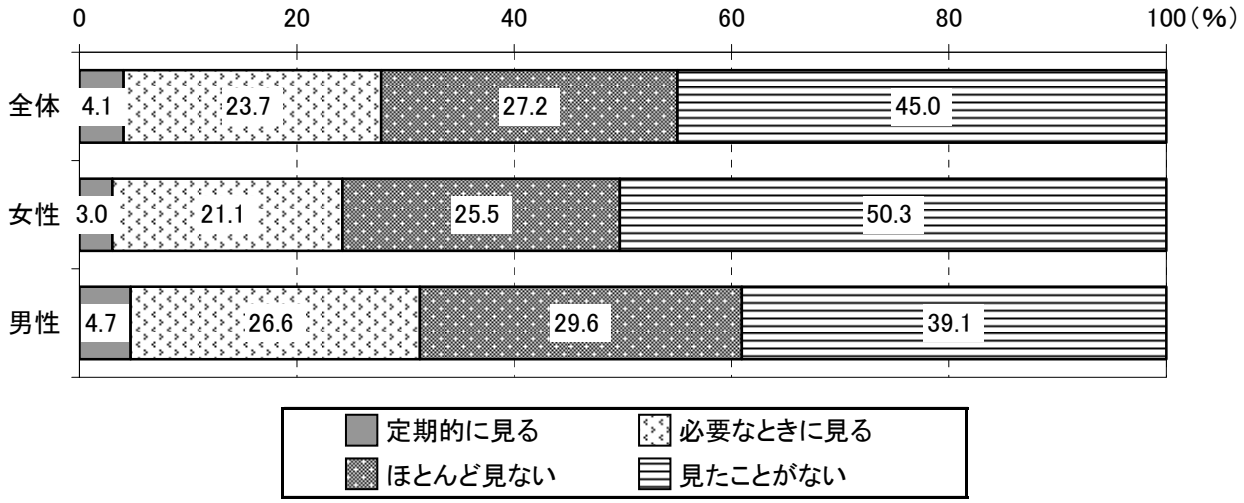


５－３　市のホームページ

「多治見市のホームページを見たことがあるか」については、「見たことがない」（45.0%）が最も高く、次いで「ほとんど見ない」（27.2%）、「必要なときに見る」（23.7%）、「定期的に見る」（4.1%）となっている。

男女別にみると、「見たことがない」では女性が 50.3%、男性が 39.1%と 11.2%の差がある。「必要なときに見る」では女性が 21.1%、男性が 26.6%、「定期的に見る」では女性が 3.0%、男性が 4.7%と低くなっている。

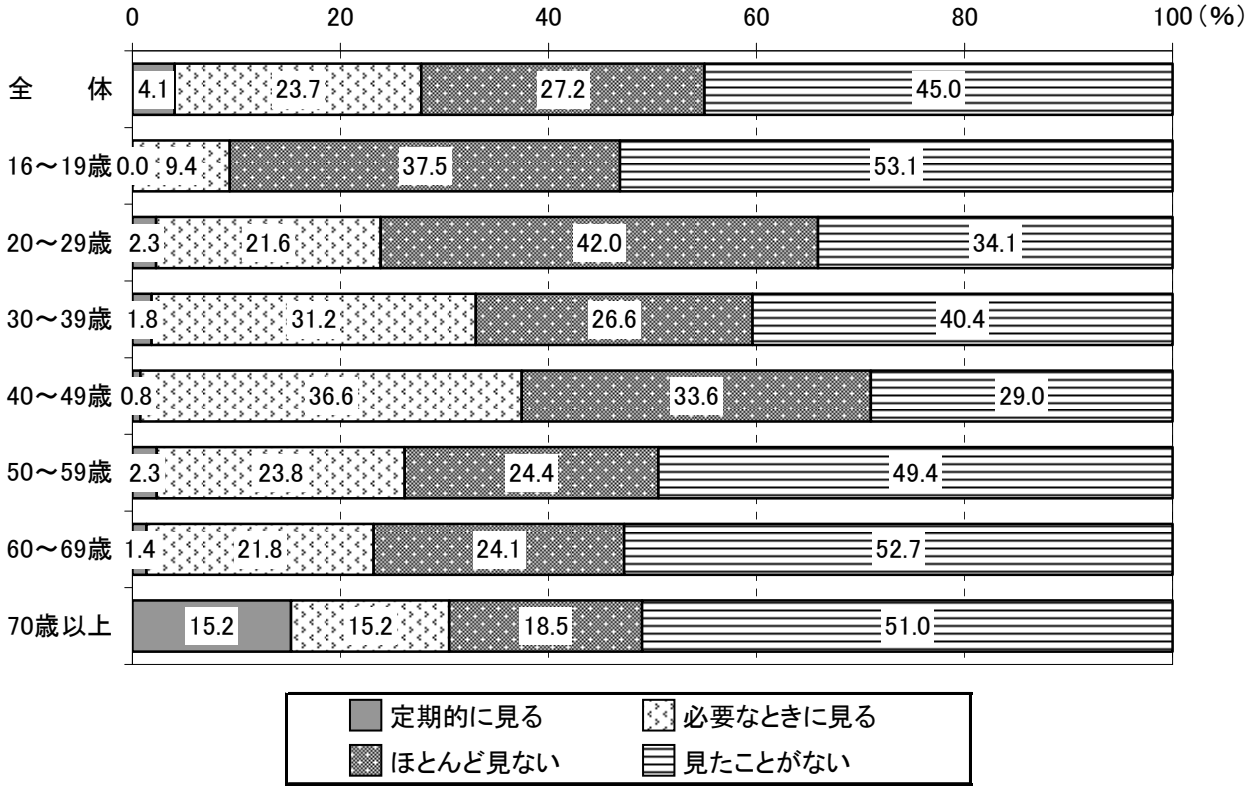
図５－３－１　男女別「多治見市のホームページを見たことがあるか」



「多治見市のホームページを見たことがあるか」について年代別にみると、「見たことがない」「ほとんど見ない」が全ての年代において高く、中でも「16～19 歳」で「見たことがない」（53.1%）が最も高くなっている。

「定期的に見る」では「70 歳以上」（15.2%）、「必要なときに見る」では「40～49 歳」（36.6%）がそれぞれ最も高くなっている。

図５－３－２　年代別「多治見市のホームページを見たことがあるか」

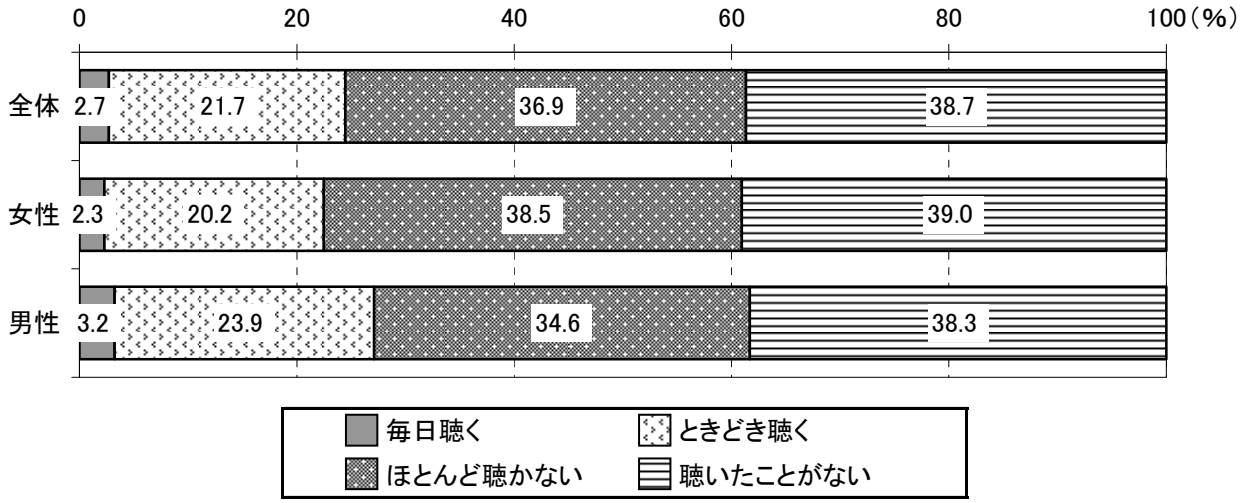


５－４　ＦＭたじみ（エフエムピピ）

「ＦＭたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」については、「聴いたことがない」（38.7%）が最も高く、次いで「ほとんど聴かない」（36.9%）、「ときどき聴く」（21.7%）、「毎日聴く」（2.7%）となっている。

男女別にみると、「聴いたことがない」「ほとんど聴かない」を合わせた割合で、女性が 77.5%、男性が 72.9%と高くなっている。「毎日聴く」「ときどき聴く」を合わせた割合では、女性が 22.5%、男性が 27.1%と低くなっている。

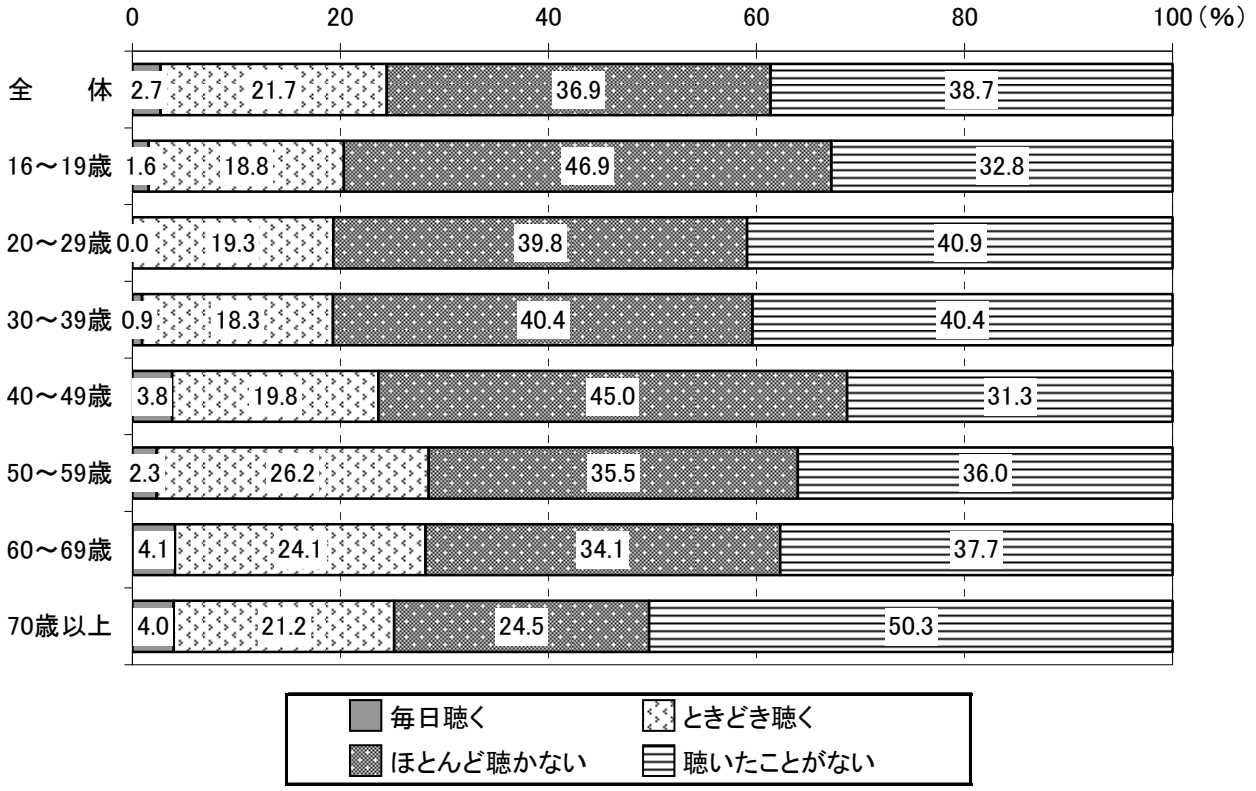
図５－４－１　男女別「ＦＭたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」



「ＦＭたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」について年代別にみると、全ての年代において「聴いたことがない」「ほとんど聴かない」を合わせた割合が高く、中でも「30～39 歳」(80.8%)が最も高くなっている。

「毎日聴く」「ときどき聴く」を合わせた割合はでは、「50～59 歳」(28.5%) が最も高くなっている。

図５－４－２　年代別　「ＦＭたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」



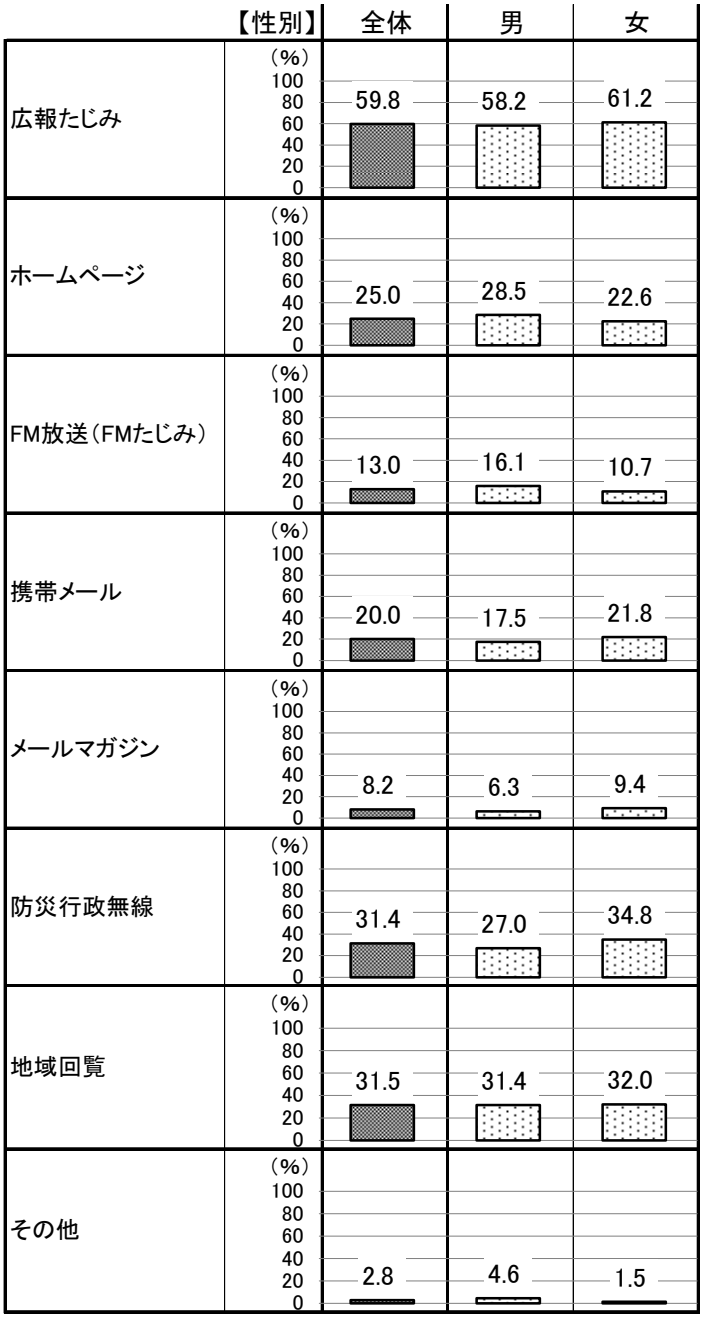
５－５　市の広報手段

「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきか」については、「広報たじみ」（59.8%）が最も高く、次いで「地域回覧」（31.5%）、「防災行政無線」（31.4%）となっている。

男女別にみると、「広報たじみ」では女性が 61.2%、男性が 58.2%と最も高くなっており、次いで「地域回覧」では女性が 32.0%、男性が 31.4%、「防災行政無線」では女性が 34.8%、男性が 27.0%となっている。

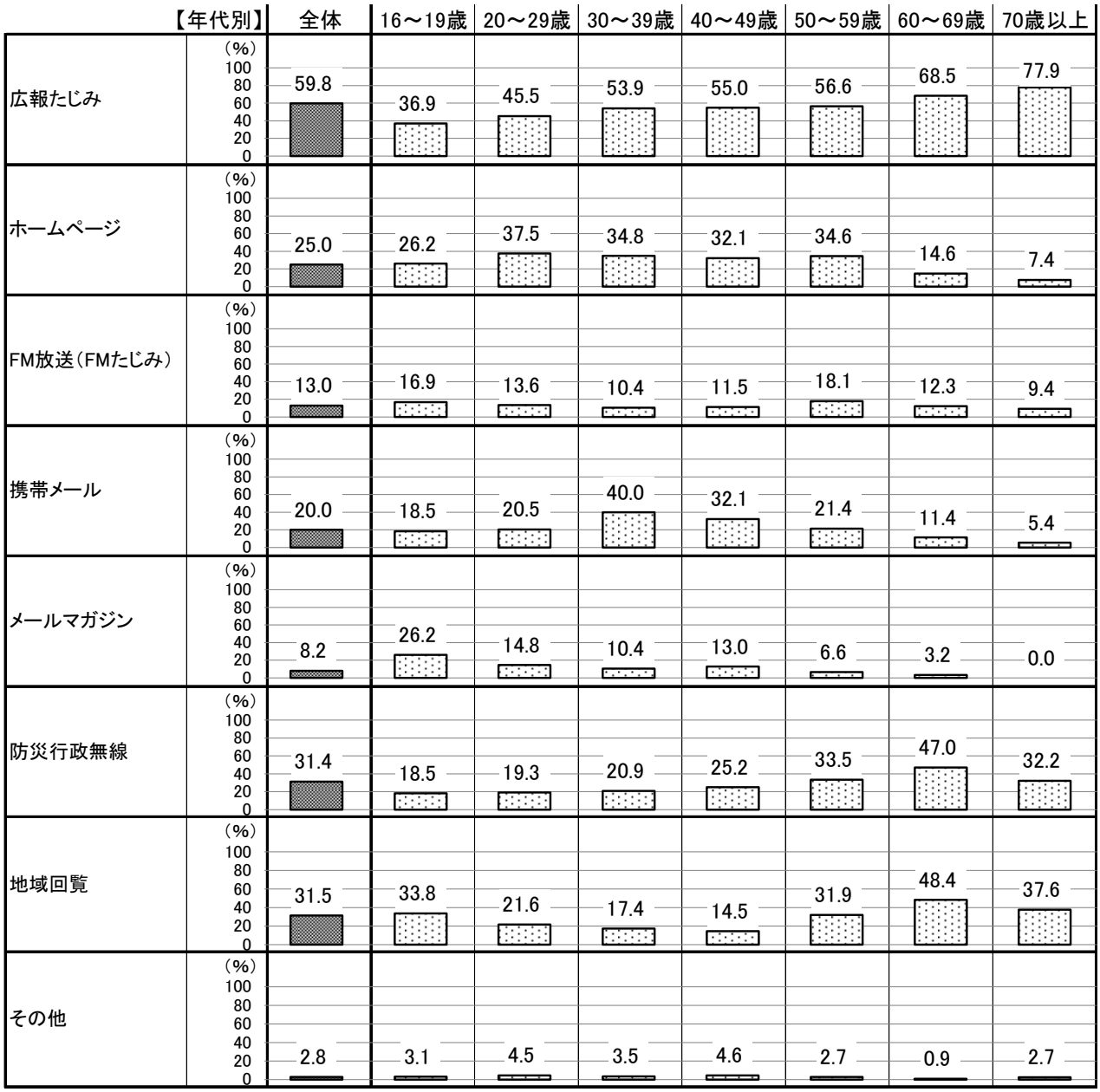
その他として、「ＳＮＳ（フェイスブック、ツイッター）」、「おりべチャンネル」、「掲示板の設置」、「防災行政無線が聞き取りづらい」などがあった。

図５－５－１　男女別「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきか」



「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきか」について年代別にみると、全ての年代において「広報たじみ」が最も高く、年代が上がるにつれて高くなっている。「地域回覧」「防災行政無線」ではいずれも「60～69 歳」（48.4%、47.0%）が高くなっている。「ホームページ」「携帯メール」「メールマガジン」では「16～59 歳」の年代において高く、中でも「携帯メール」では「30～39 歳」（40.0%）が高くなっている。

図５－５－２　年代別「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきか」



参　考　資　料

依頼文書及び調査票

多治見市「市民意識調査」
ご協力のお願い

日頃は、多治見市政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、市ではこのたび「市民意識調査（アンケート)」を実施することになりました。このアンケートは、市民の皆様から市の施策や行政サービスに対するご意見をお聞かせいただき、今後の市政運営や施策形成の際の基礎資料とするためのものです。

調査を行うにあたり、市内にお住まいの１６歳以上の方から、２，０００人を無作為に抽出して対象者を選ばせていただきました。アンケートは無記名回答とし、結果は統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部にもれることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成２５年３月１５日
多治見市長　古　川　雅　典

【ご記入にあたってのお願い】

１．質問には、できるだけ封筒のあて名の方ご本人がお答えください。都合により回答できない場合は、家族のどなたでも構いませんので、代わってご記入ください。その場合は記入された方の立場でお答えください。
２．住所や氏名をご記入いただく必要はありません。
３．ご回答にあたっては、指示のある数だけ、答えの番号に○印をつけてください。
４．お答えの中で、「その他」を選んだ時は、その内容を具体的に記入してください。

※このアンケートをご記入いただきましたら、恐縮ですが同封の返信用封筒で
３月２５日（月）までにご返送ください。切手は不要です。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

多治見市企画部秘書広報課

電話　２２－１１１１　内線　１４７２
担当者　玉野、赤塚

多治見市市民意識調査　調査表

【問１】　多治見市の**住みごこち**について、日頃感じていることを**１つ選び**、○印をつけてください。

１．住みやすい	３．どちらかといえば住みにくい
２．どちらかといえば住みやすい	４．住みにくい

【問２】　今後も多治見市に**住み続けたい**と思いますか。あてはまるものを**１つ選び**、○印をつけてください。

１．住み続けたい	４．勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある
２．当分は住み続けるつもり	５．わからない
３．できれば他市町村へ移りたい	

【問３】　多治見市の**まちづくりに対する満足度**をおたずねします。次の項目についてあなたのお考えに最も近いものを**それぞれ１つずつ**選び、番号に○印をつけてください。

設問項目	評　価				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
〈記入例〉○○○○の整備	1	(2)	3	4	5
１．教育・文化					
(1)小中学生の基礎的・基本的な学力・体力の定着への取り組み	1	2	3	4	5
(2)小中学校における教育環境の整備	1	2	3	4	5
(3)芸術や文化に触れる機会	1	2	3	4	5
(4)文化財の保存と活用	1	2	3	4	5
(5)生涯学習活動に参加する機会	1	2	3	4	5
(6)スポーツを楽しむ機会	1	2	3	4	5
(7)子どもの権利に関する意識の定着	1	2	3	4	5
(8)社会における男女平等意識の定着	1	2	3	4	5
(9)人権意識の普及	1	2	3	4	5
２．産業・経済					
(1)企業誘致に向けた取り組み	1	2	3	4	5
(2)新しい分野の産業や企業の育成	1	2	3	4	5
(3)中心市街地や商店街の魅力づくり	1	2	3	4	5
(4)農業振興に向けた支援	1	2	3	4	5
(5)地場産業への支援	1	2	3	4	5
(6)にぎわいを生み出すまつりやイベントの開催	1	2	3	4	5
(7)観光資源の充実や観光ＰＲ	1	2	3	4	5
３．都市基盤					
(1)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	1	2	3	4	5
(2)にぎわい拠点としての多治見駅周辺地域の整備	1	2	3	4	5
(3)景観保全への取り組み	1	2	3	4	5
(4)消防・救急体制の整備	1	2	3	4	5
(5)大規模災害に備えた避難所整備などの防災対策	1	2	3	4	5
(6)渋滞解消のための道路整備	1	2	3	4	5
(7)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	1	2	3	4	5
(8)交通安全対策や歩道などの整備	1	2	3	4	5
(9)鉄道やバスなど公共交通政策	1	2	3	4	5

４．生活環境

(1)地球温暖化対策と環境教育への取り組み	1	2	3	4	5
(2)公害防止やまちの美化、不法投棄対策などの生活環境の保全	1	2	3	4	5
(3)ごみの減量化やリサイクルへの取り組み	1	2	3	4	5
(4)まちなかの緑を増やす取り組み	1	2	3	4	5
(5)自然環境の保全や自然に親しめる場の整備	1	2	3	4	5
(6)水道水の安定供給への取り組み	1	2	3	4	5
(7)下水道整備、浄化槽設置など生活排水対策	1	2	3	4	5
(8)雨水の排水施設整備などの浸水対策	1	2	3	4	5

５．保健・医療・福祉

(1)幼稚園や保育園の保育サービス	1	2	3	4	5
(2)子育て支援への取り組み	1	2	3	4	5
(3)支援の必要な児童に対する療育（医療と育成）	1	2	3	4	5
(4)健康増進に向けた情報提供や活動の機会	1	2	3	4	5
(5)市内の医療機関の充足状況	1	2	3	4	5
(6)高齢者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5
(7)障がい者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5
(8)介護保険事業や介護予防	1	2	3	4	5
(9)障がい者と健常者が社会生活をともにする社会（ノーマライゼーション）の実現に向けた取り組み	1	2	3	4	5
(10)地域で支えあう福祉体制	1	2	3	4	5

６．行政運営・経営

(1)職員の市民への対応	1	2	3	4	5
(2)財政運営の状況	1	2	3	4	5
(3)情報化社会への対応	1	2	3	4	5
(4)市民への広報活動（情報提供）	1	2	3	4	5
(5)市民参加の機会	1	2	3	4	5
(6)地域と連携協力した防犯活動等の取り組み	1	2	3	4	5
(7)計画的な事業の実施や行政改革の状況	1	2	3	4	5

【問４】　次の項目について、**はい・いいえのどちらかに**○印をつけてください。

項　　目	はい	いいえ
１．ごみの２３分別のルールは知っていますか	1	2
２．家庭内で防災対策を話し合っていますか	1	2
３．避難場所や避難経路を知っていますか	1	2
４．かかりつけの医師はいますか	1	2
５．高齢者の介護に関する悩みはありますか	1	2
６．子育てに関する悩みはありますか	1	2
７．外国の文化に興味・関心がありますか	1	2
８．この１年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがありますか	1	2
９．この１年間に、ボランティア活動に参加したことがありますか	1	2
10．市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っていますか	1	2

【問５】 多治見市のまちづくりについて、**今後力をいれてほしいもの**についておたずねします。次の項目の中から、**重要度の高いものを５つまで選び**、○印をつけてください。

＜教育・文化＞
1. 小中学生の学力定着
2. 小中学校における教育環境の充実
3. 芸術や文化に触れる機会の充実
4. 生涯学習の機会の充実
5. スポーツの機会の充実
6. 人権意識の定着

＜産業・経済＞
7. 企業誘致や起業支援
8. 中心市街地の活性化
9. 地域の農業振興
10. 地場産業の支援
11. イベントやまつりの開催
12. 観光資源の充実や観光ＰＲ

＜都市基盤＞
13. 多治見駅周辺地域の整備
14. 景観の保全
15. 消防・救急体制の整備
16. 大規模災害に備えた防災対策
17. 渋滞解消のための道路整備
18. 清掃や修繕などの道路の維持管理
19. 交通安全対策
20. 鉄道やバスなどの公共交通の充実

＜生活環境＞
21. 地球温暖化対策
22. ごみの減量やリサイクルの推進
23. 自然環境の保全や緑化の推進
24. 水道水の安定供給
25. 下水道の整備

＜保健・医療・福祉＞
26. 子育て支援や少子化対策
27. 健康増進事業の充実
28. 市内医療機関の充実
29. 高齢者福祉の充実
30. 障がい者福祉の充実
31. 介護予防事業の推進
32. 地域で支えあう福祉体制の構築

＜行政運営・経営＞
33. 情報公開や広報活動の充実
34. 市政への市民参加の機会の充実
35. 地域の防犯対策
36. 計画的な行財政運営

37. その他(具体的に：　　)

【問６】 多治見市の**広報**についておたずねします。次の各項目について、あてはまるものを**それぞれ１つ選び（６－５は複数）**、○印をつけてください。

６－１　あなたは、広報たじみ（Tajimist（たじみすと））を読んでいますか。
１．毎回読む　　**２**．ときどき読む　　**３**．ほとんど読まない　　**４**．読んだことがない

６－２　広報たじみ（Tajimist（たじみすと））について

項　　目	はい	いいえ
１．発行回数が月一回になったことを知っていますか	1	2
２．文字の大きさは読みやすいですか	1	2
３．紙面のレイアウトは見やすいですか	1	2
４．掲載内容は分かりやすいですか	1	2
５．ページ数は多いですか	1	2
６．必要な情報は掲載されていますか	1	2

６－３　あなたは、多治見市のホームページを見ますか。
１．定期的に見る　　**２**．必要なときに見る　　**３**．ほとんど見ない　　**４**．見たことがない

６－４　あなたは、ＦＭたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか。
１．毎日聴く　　**２**．ときどき聴く　　**３**．ほとんど聴かない　　**４**．聴いたことがない

６－５　これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答可）
１．広報たじみ　　２．ホームページ　　３．ＦＭ放送（ＦＭたじみ）　　４．携帯メール
５．メールマガジン　　６．防災行政無線　　７．地域回覧　　８．その他（　　）

【問７】　あなたの**性別はどちら**ですか。

１．女性　　２．男性

【問８】　あなたの**年齢**について、次の中からあてはまるものを**１つ選び**○印をつけてください。

１．１６～１９歳	３．３０～３９歳	５．５０～５９歳	７．７０歳以上
２．２０～２９歳	４．４０～４９歳	６．６０～６９歳	

【問９】　あなたの**お住いの小学校区**について、次の中から**１つ選び**○印をつけてください。

１．養正	５．小泉	９．南姫	11．北栄	13．笠原
２．精華	６．池田	10．根本	12．脇之島	
３．共栄	７．市之倉	※校区が分からない場合は町名をご記入ください		
４．昭和	８．滝呂	多治見市（　　）町		

【問１０】　あなたの**職業**について、次の中から**１つ選び**○印をつけてください。

１．農林業	５．パート・内職
２．自営業（卸売・小売・サービス業）	６．学生
３．自営業（製造業）	７．無職
４．会社員・公務員・団体職員	８．その他（具体的に：　　）

ご協力ありがとうございました。記入もれがないかをお確かめのうえ、同封の封筒に入れて、**３月２５日（月）まで**に、お近くのポストへ投函してください（切手は不要です）。

平成２４年度　市民意識調査報告書

平成２５年３月発行

発　　行　：多治見市役所　企画部　秘書広報課
〒507-8703　多治見市日ノ出町２丁目１５番地
TEL0572-22-1111（内線 1472）

デザイン協力：多治見市デザインバンク登録者 内田明美さん

調 査 機 関　：(株）中部タイム・エージェント
〒500-8384　岐阜市藪田南３丁目１３番地１０
ＹＳトラスト２Ｄ
TEL058-278-7015